新京日日新聞
夕刊
六月十二日（火）
本紙一部五錢 一ヶ月一圓
定價 郵税一ヶ月十五錢
廣告料 普通一行 一圓三十錢 特別位 二圓五十錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話三二一五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎

低金利情勢深刻化で 銀行の 不動産貸付 續々利下

金利の平準化要望の聲起る

【東京國通】近來金融緩慢低金利情勢の深刻化から起債界は未曾有の＝活況＝を呈し、公、社債、銀行債とも競つて低金利借替へに努めた結果著しく金利負擔の輕減を達成し、斯る債券資金コストの低下から又勸業銀行、興業銀行農業銀行、北海道拓殖等に於ける長期不動産貸付けも昨秋來相當大幅の引下げを見て來たが、最近の金利低下の趨勢は益々深長なるものあり、普通銀行の預金貸付け利率も引續き引下げを餘儀なくせられ中央、地方を通じて今や金利の平準化運動が行はれてゐる有様で、かゝる現狀から又來期不動産貸付け率引下げが一部の主張となつて現れて居り特に不動産金融の大本山たる勸銀の來期實行利率引下げ及ひ更に既往貸付け分再利下げによる金利の縱斷的平準化が要望されてゐるが、右につき勸銀首腦者の意向を聞くに大局論より言へば、利下げは素より否むところではないが、＝目下＝のところ採算上並に技術上俄に利下げの實現を見る事は困難なりとしてゐる

貿易の國策樹立に 貿易顧問委員會設置

松本商相の抱懷する貿易國策

【東京國通】松本商相は大阪に於ける全國産業團体及ひ經濟臨時總會に出席中のところ十一日午前九時東京驛着列車で歸京したが、貿易國策に關し左の如く語つた

時局匡救事業も勿論必要であるが非常時對策として少し暫定的過ぎる、依つて非常時恒久對策としては貿易國策の樹立を圖り、その進出確保に努めねばならぬ、その爲には商工省内に貿易顧問委員會の如き最高中央機關を設ける必要があるので、豫てよりその具体案を作成せしめて居るが、我國の、輸出貿易の大半は中小工業の手にあるものであるから、中小工業者の監督官廳たる商工省が當然所管しなければならぬ、而して此の機關は商工省所管の委員會に統一したい、從つて外務省に於ける通商審議會の如きも出來るならば廢止してもらひたいと思ふ、之等に關しては近く廣田外相、外務當局でも商工省の貿易委員會を中心として助力し、に具体策を提唱して充分協議する積りである

（前略）た陳情書並ひに具体的運動方法については商議理事一任となつて居たので愈々十一日長永書記長が該陳情書を携へて滿鐵正副總裁並ひに各理事、鐵道長、關東長官、大連民政署長を訪問夫々手交する事となつた、この運動によつて大連驛の移轉新築問題も早晩解決を見るものと觀られ各方面より非常に期待されて居る

營口の糞夫爭議 解決

【營口國通】營口の石炭商三善興の經營する營口肥料所の糞夫百五十四名は五月三十一日待遇改善を要求して容れられず、六月一日より罷業したが、同所の賄長孫忠義の調停で月給十圓を二圓値上げして解決した

南阿聯邦の 關税修正法公布

【東京國通】外務省着電によれば南阿聯邦の爲替ダンピング税は愈々實施に決定し、右に伴ふ關税修正法は七日附を以て公布された

大連驛の 移轉運動昂まる

【大連國通】大連驛新築移轉促進方を各方面に陳情する事に關して去る八日の大連商工會議所役員會で決定を見

日蘭會商は 目下無風狀態

出鼻をくぢかれた形の蘭印

【バタビア十一日發國通】去る六日、長岡代表がヨンゲ總督と會見の際提出した蘭印非常時輸入制限令の撤廢に就ては十一日に至るも蘭印側の回答來らず、目下無風狀態である、長岡首席代表、木村顧問兩氏は十日の日曜を六十哩離れた避暑地スカブメイに行きゲッテー山麓で大いに余裕を示してゐるが、一方勝頭に於て豫期せざりし問題を提供されて出鼻をくぢかれた形の蘭印側は毎日重要協議を重ねてゐるが、オランダ本國に請訓してゐる模樣で、その重要性に鑑み、回答は相當遲れるものと觀られる

帝國民間使節 代表出發

【神戸國通】我國民間使節代表として日蘭會商に赴く名古屋陶磁器輸出組合常務理事伊藤次郎左衛門氏は名古屋硝子輸出組合長石塚岩三郎氏並に神戸支那商人南洋輸出協會常務理事許暴唐、同書記長堂本氏等と共に十一日午後四時神戸出帆のクライド丸で出發した

サ國の承認―何を物語る？ 不承認政策 遂に地に落つ（一）

太平洋に面した中米、一共和國サルヴァドルが、滿洲國不承認主義の依然横溢してゐる國際的雰圍氣を全く無視して滿洲國承認の快擧に出でた事はサルヴァドル國が、國際聯盟の參加國であるといふ點に於て、またアメリカからの投資を仰いでゐる米國の經濟的制覇權の下に結合されてゐる中米の一國であるといふ點に於て、極めて意義深いものがある

則ち聯盟理事會の滿洲國不承認決議の採擇や、また支那籠絡政策に出發したスチムソン、ドクトリンが、如何に歪曲された國際公理だつたかを物語るものである

經濟的制覇によつて全アメリカ諸國を抑壓して來たスチムソン、ドクトリンに表現された不承認主義や、ヨーロッパ諸小國の自己防衛的偏見に、終始曳き廻されて來た聯盟の不承認態度は、今やサルヴァドル一國の「滿洲國承認」の事實の前にいみじくも蹂みにじられて了つたのである、そして滿洲國の建國が歴史的必然性の結果である事並に日本

が五十有余の聯盟參加國を相手に廻して終始敢然として滿洲國の承認を求めて鬪つて來たことの正當であつた事が、先づサルヴァドル國によつて正しく是認されたのである

今日サルヴァドル共和國の、滿洲國の正式承認をなすに至るまでには、極東に於ける國際政情も少からぬ變化を示して來てゐる、又獨立國として の滿洲國それ自身の國貌も建國當初とは比較にならぬ程の格別な進歩を示して來たのである

昨年則ち一九三三年二月廿四日の聯盟理事總會に於る滿洲國不承認決議の採擇、それに續く日本帝國の聯盟脱退、それと前後して決行された最後の抗日反滿分子擊滅の熱河聖戰、かくて滿洲國問題を中心とする國際政局もまた滿洲國自体の獨立工作も一つの段落に到達した、この間アメリカではルーズヴエルト氏がフーヴァー氏に代つて新たに白堊館の主人公となり、スチムソン、ドクトリンの本尊スチムソン氏は、その華かなりし舞臺から身を退いて、國務長官の地位をハル氏に讓つた

共和黨に代つた民主黨の對極東政策は如何か、新大統領ルーズヴエルト氏は世界の大問題とされた極東の事態に對し一体どんな方針を抱懷してゐるか、その頃最も注目された問題はこれであつた、その第一聲ともいふ可きル大統領の軍縮に對する聲明、則ち世界平和促進に關する提議（五月十六日）はその聲明中に「何れの國家もその性質の何たる

日本は支那に 平和を與へ得る

舊獨帝日本の發展を激賞

【ロンドン十日發國通】十一日のデリー・メール紙は、日本の目覺ましき發展を激賞せる前獨帝の感想談を掲げて居るが右感想談は前英國藏相ウインストン、チャテイル氏の令息たるランドルフ、チャテイル氏がデリー、メール紙から特派され、舊獨帝と會見して得たものである、而して右談話の大要は左の如きものである

支那に於ける日本の勢力發展阻止を圖るは無益の沙汰である、日本はイギリスが印度に平和と秩序を與へた樣に、支那に平和と秩序を與へる能力を有する、又ドイツが共産主義侵入に對し西方に堅固な城砦を固めたと同樣に日本は東に於いて同樣防壁を形成して居る、聯盟はその体面上實現不可能な國際協調等と滑稽な曲藝を演じて居る以外何もして居らぬ、ヒットラーは全ドイツに新精神と新生命を注入し驚くべき好成績を擧げて居る、彼の努力は必ずやドイツに立憲君主制の復歸を齎すであらう

バハマ政府 綿製品關税引上案議會提出

（東京國通）外務省着電によれば英領西印度バハマ政府は八日、日本品防遏のため綿織物關税引上案を議會に提出した

世界戰爭再發説は 武器製造業者の謠言

元米國務長官ケロッグ氏談

【ワシントン十日發國通】元國務長官ケロッグ氏は十日記者との會見に於て現在云々されつゝある世界戰爭再發説は兵器製造業者のためにする謠言に過ぎないとて左の如く語つた

世界大戰の苦き記憶は未だ各人の腦裡に深く刻み込まれて居るから、第二の世界大戰が起るなどとは考へられない、最近國防と言ふことが、旺んに論議されて居るが、これに世界各國に徹底的に武装をさせ樣とする武器製造業者のためにせんとする口實である　杞憂家達は旺んに極東の地に戰雲が漲つて居るなどと稱し之等の人々の謠言に依れば卅三年から戰爭が起つて居なければならない筈だが今でもこれ等極東の人民は極めて平和な生活を續けて居る

公主嶺にも 西本願寺別院

當分光岡師が兼務

本派本願寺では事變後公主嶺の發展とゝもに、なほ將來を見越して、今度同地にも別院を設置することに成り、當ア支那家屋を借受けて開院することゝし、物色中のところいよいよ同地東雲町に適當なるものを見つけこのほど話が纏まつたので内部の改造に着手したが近日中に出來上るはずである、なほその名稱は公主嶺西本願寺としその主任には當分新京駐在、光岡慈照師が兼務することになつたが、いづれそのうち正式に獨立することになつてゐる

京城聯合青年團 皇軍慰問

【京城國通】京城聯合青年會では皇軍慰問のため團員を渡滿させる事になり、人選其他準備中のところ、愈々十一日午後九時十分發列車で奉天に向け出發する事になつた、一行は同會理事高井健次氏を團長とし、總員三十二名、六班に編成して十一日夜京城發奉天、新京、ハルビン、チチハル、大連、吉林各地を訪問して京圖線經由で二十三日歸城の豫定である

訂正

本紙六月十一日附夕刊一面所載「協和會コロンバイル政廳で」の記事中見出し「農場設置」の「コロンバイル政廳で」は「コロンバイル地方事務所で」の誤りにつき正誤す

生命線を行く

日滿聯合 （荒川芳三郎畫） 國友雄吉

戀人の瞳（百九十六）

晴子と同じやうに、久彌にも亦千瀨子夫人から、晴子との縁談が持ち出された。

それを久彌は、一も二もなく拒絶したのであつた。

「僕は、まだ學生ですよ。學生が妻なんか持つて、何するんです」

彼は、さう言つて、喰つてかゝつた。そして、尚その上、

「僕に妻を持たせやうなんて、それは、お母さんに、別に目的があるからでせう。それが、どんな目的かといふことを、僕は知つてゐる。だから結婚いやなんだ」

彼の態度は、明かに挑戰的であつた。

内兒を見拔かれて、さすがの夫人も、ちよつと、手の付けやうが無くなつてしまつた。

そして久彌と晴子とは、ある日密に、日比谷公園で會合して居つた。

ちょうど暮れの公園。幸ひに人無き樹蔭のベンチ一脚。ふたりは並んで語らつた。

それでわざとあんな眞似をしてゐるんだ、それが漸く僕にもわかつたんだ、たとへ一時でも、兄さんを騙ぐつたり欺いたりしたのは、この為めだつたんだ」

「でも、結婚がいやだから、醫者の身受けをして、それをお妻にするなんて、おかしいぢやないの？」

「それは兄さんの苦肉の策なんだよ。兄さんと、勝代といふ女は決して、卑しい關係は無いんだ。あして世間をゴマ化してゐるうちに、商彦め、ほんとうのお母さんが現はれて來るだらうと、それ待つて居るんだよ」

「すると、勝代といふ人は、兄さんの氣持を、能く知つてゐるのせうか」

「むろんさうさ。さうして、兄さんの爲に犧牲になつて默つて居るんだ」

「まあ勝代さんといふ人、なかなかえらいのね」

「大變義侠に富んだ人だらうだ。商彦を救つて呉れた

「君の方も、もう話が出たゞらうねえ」

「えゝ、出たわ。あんたの方も出たでせう」

「あゝ、出たよ。だが、豫定の如く、僕は一ぺんに、刎ね付けちやつた」

「あたしも――」

「君のお父さん、きつと、怒つただらう？」

「怒るよりは、寧ろ困つてたわ」

「なあに、心配しなくても宜いんだよ。我々が、目的を遂しさへしたら、僕、伸一兄さんに頼んで、きつと、お父さんの苦しみを救つて貰ふから――」

「どうぞ、お願ひするわ。お父さん、ほんとうに氣の毒だわ」

「そのかはり、何處までも、頑張つて呉れなくちやいけないよ」

「えゝ、大丈夫よ。きつと頑張ふわ」

「僕ね。此頃まで、實は兄さんを騒ぐつて居たんだ。けれど、もうすつかり、疑ひは解けちやつたんだ。伸一兄さんも、やつぱり結婚をすゝめられるのが煩さいので、

ともあるさうだし。商彦を、ほんとうの母親の手に渡したいといつて一生懸命になつて居るんだって、だから兄さんの爲にも、僕達になつて呉れるんだよ」

「マア、あたしも勝代さんに負けないやうに、きつと頑張ふわ」

「どうか、さうしてお呉れ。やがて、僕たちの上にも、必ず幸福が來るだらうから」

晴子は、ちよつと考へて、

「でも――この儘つてことは無いわねえ」

「この儘つて、どういふこと――？」

「あたし達、いつ迄も、この儘で居て、それで終ふやうなことはないだらうかといふのよ。運命は隱分皮肉なんだもの、世間には、いくらでも泣いて居る人があるわ」

「そんなことはありやしないさ。若し、いけなくなつたら、二人で滿洲へでも行つて闘かうよ」

「さうだわね」

互に微笑み交した若人の瞳は、希望に燃えてゐる。

秩父御名代宮殿下

重任を果させ給ひ明朝八時卅分御離京

滿洲國皇帝御名殘を惜ませ給ひ特に勅使を御差遣

秩父御名代宮殿下には去る六日御來京いらい前後七日間に亘らせられ殆ど御憩ひの暇さへあらせられず、誠に御繁忙の日を御過し遊ばされたが、いよいよ明十三日午前八時半新京御發、御歸路に就かせられることになつた、殿下此の度の御來滿は畏くも聖上の御名代として重大な御使命を帶びさせ給ふたのであるが、それも無事果させられ、殊に御滯京中は滿洲國皇帝陛下と再三御面接遊ばされ、吾々國民に日滿親善の範を垂れさせ給ふ、また畏くも在京官民に親しく謁を賜ひ、國都建設狀況その他萬般の御事情について御熱心に御聽取あらせられるなど、民草に御心を寄せさせ給ふ殿下の御思召を拜して日滿民衆の光榮また感激は一入で、かくて殿下には御豫定のプログラムをすつかり終らせられ、明十三日を御最後に御名殘を惜しまれつゝ奉天御經由御離京遊ばされるのである

爽々しい宮廷府に御名殘りの御午餐

宴後御睦じく御二方の御歡談

滿洲國皇帝陛下には秩父御名代宮殿下御來京あらせられて以來御會見毎に親しく御歡談を重ねさせられ、御交情一層御親密の程拜察するだに「畏き」極みであるが、殿下御歸程に上らせらるるに先立ち御告別のため十二日御參内遊ばさるるや、陛下には御名殘りを惜ませ給ひ宮中に於て御送別午餐會を御催し遊ばされた、此日殿下には林首席隨員以下を隨へさせ給ひ午前十時五十分御旅舘御發定刻御參内あらせらるゝや陛下には皇后陛下とゝもに承光門階上に出御、御待ちうけの上御同列にて便殿に入らせられ、御少憩後特に御陪食の光榮に浴したる菱刈軍司令官、西尾參謀長、岡村參謀副長、田代憲兵隊司令官、小林駐滿海軍部司令官、鄭國務總理大臣、其他接伴員等日滿要人の最敬禮の裡に御食堂に出御あらせられた、御宴半ばにして皇帝陛下には御盃を上げさせられ殿下御歸國の一路御平安と御健康を祝し給へば、續いて殿下に於かせられても御盃を上げさせ給ひ御駐京中の御優遇に對する「御禮」と陛下の御健康を祝し給ふた、御宴後便殿に入御遊ばされた御二方には御名殘りの御歡談に御睦じく時を移させ給ひ、定刻殿下には陛下の御見送と諸員奉送裡に御退出遊ばされた

谷參事官から諸事情御聽取

なほこれより先き殿下には、十二日午前谷參事官より諸事情御聽取遊ばされ、同參事官からいろいろ奉答申上げた

滿洲國皇帝お土産品獻上

鄭總理其他からも

秩父御名代宮殿下新京御發にあたり滿洲國皇帝にはお土産として「碧玉鐔」「紅玉の筆筒」を御贈進、鄭國務總理からは三陛下並に殿下に對し滿洲國實情紹介の寫眞帖を各一冊宛、滿洲帝國全貌のフイルム二本(各三卷)を獻上することゝなつた、なほ一般からの獻上品で決定してゐるものは中央銀行、大興公司の砂金眞珠、貂の皮などである

奉天省政府から殿下へ獻上の品々

【奉天國通】秩父宮殿下御來奉の日も迫り、五十萬奉天市民は光榮に喜び奉迎準備に忙殺されてゐるが、奉天省公署より宮殿下に對する心からの獻上品は十一日漸く其の手續を完了した、獻上品左の如し

一、寫眞帖　奉天省内の産業、交通、教育、風俗、風景、等に分類して寫眞技術に自信あるものが相集つて特に優秀なる作品を集めて殿下の御渡滿を永久に記念し奉らんとするものである

二、四塔模型　高さ二尺小倉圓平氏作、奉天城創建の際奉天守護の意味で充分なる研究の下に奉天の四方の地に四季の喇嘛堂が出來た、奉風秋雨三百年風や雨に破壞されつゝある四塔を詳さに研究してその殘りの部分をとつて原形を髣髴せしめんとしたものである

三、鑛物標本　省内産二十五種滿洲に於ける尤も將來を囑望されるものは鑛物である、その重要なるもの二十五種を撰定した

四、滿洲實錄　清朝變革史で一種の國寶とも言へば言はれるものである、先年奉天の滿人有志が相圖つて之を世に問はんとして東北大學印刷工場で複製したものである

其中の挿繪は殆んど寫生に近いと云はれてゐる、尙殿下博物館に御成の際鳳凰樓御休憩所に左の品々を陳列し台覽を仰ぐことになつた

イ、實業廳出品　棉花、柞蠶、羊毛、鑛石等其の他産業の統計圖

ロ、警務廳出品　匪賊の使用せる銃器、砲彈、彈丸、刀槍、匪賊分布圖

ハ、教育廳出品　生徒の書畫手藝品等

御退京に供奉申上ぐる諸員豫定

十三日秩父宮殿下御退京に際し供奉申上げる諸員は左の通りである

△日本側　菱刈軍司令官、今岡副官、林出書記官、鶴見書記官、鹽原秘書官、大場關東廳警務局長、原田軍醫(以上大連迄)西尾參謀長、塚田大佐、田代憲兵隊司令官、馬場中佐(以上奉天迄)小林駐滿海軍部司令官、山田副官(以上奉天より大連迄)

△滿洲國側　沈首席接伴員、遠藤、許、劉、加藤、小泉田中各接伴員(以上大連迄)

△滿洲國政府を代表して　謝外交部大臣、竹内民政部總務司長、長尾民政部警務司長

にくやけふの雨園遊會取止め

日滿官民いづれも落膽の極

秩父御名代宮殿下の御台臨を仰ぎ、殿下奉迎の官民合同大園遊會は吉澤總領事、荒木地方事務所長、金特別市長主催の下に十二日午後三時より西公園海軍記念碑前で盛大に擧行されるべく、これが準備もすつかり出來上つてゐたが、折柄同朝來の降雨が午後に至つても止みそうになく折角の會場設備も雨のため間に合ひそうもないので主催者側でもいろいろ氣を揉んでゐたが同日午後零時半に至り、誠に惜しき限りであるが中止のほかなきものと決定しその旨各方面に通知された

提灯行列も取止めに決定

御滯京最後の御夜、御旅情を慰め奉る滿洲國側の提灯行列は十二日午後八時から盛大に催されるはずであつたが、折柄の降雨のため遂に中止されることになつた

奉天における十三日の御日程

【奉天國通】秩父御名代宮殿下奉天御滯在中十三日の御行事は左の如くにあらせらる

午后一時十五分奉天驛御着日滿官民に謁を賜ひ奉拜を受けさせらる、同一時廿五分驛御發、奉天神社忠靈塔へ御成り、同二時三毛部隊へ御成り、同四時三十分衛戍病院に御成り、同五時十分御旅舘御着、同六時卅分軍司令官主催の晩餐に御成り

特務部長は文官制

陸軍中央部意向

【東京國通】關東軍特務部改編問題に就ては特務部長は從前通り關東軍參謀長に兼任せしめるとの案は目下關東軍司令部内に聲が高いが、陸軍中央部は特務部の性質上文官制度を執る方針を堅持し居り、小野義一氏の就任謝絶後引續き文官候補を物色中である、而して特務部内の業務の取捨撰擇や内部の編成は皆關東軍司令官に一任の筈である

その日く

□

大任を果させ給ひ、秩父御名代宮殿下明日御離京遊ばさる

□

殿下の御旨を心とし、日滿更に々々楔りを深くし東亞永遠の平和のため力めん

□

さるにても殿下御滯京中の御繁忙、たゞ畏れ多いの言葉あるのみ

□

甲斐、信玄の國から青年飛行機滿洲を訪る、今じやお土産に鹽はいらぬ

□

例の仙人の廟宇、遂に國道局折れて豫定を變更「滿洲及ひ支那」である

東郷元帥記念事業

發起人會を設け具体案を決定

【東京國通】我海軍の誇りである故東郷元帥の偉業を記念せんとの計畫は、薨去後間もなく銅像、公園、記念館、神社等の建設希望となつて現れ東郷邸、海軍省等へ日日其の申込みが殺到してゐるが、海軍省では統一ある計畫の下に全國民の事業として、之を何等かの形をもつて具体化せんとして居り、近く各關係方面の名士を一堂に招き、種々打合せをなし、大体の方針を決定、發起人會の設立を圖る事となつた

人事往來

▲若山中將(第〇〇團長)十一日午後三時二十五分着哈市から同日午後四時三十分發公主嶺へ

▲佐藤中將(第〇〇〇〇隊司令官)十一日午後四時着吉林から

▲羽田公司氏(滿鐵々道部長)十一日午後七時三十分着大連から

▲土肥顥氏(滿鐵人事課長)十二日午前九時發大連へ

團體

▲福岡縣小倉師範學校生四十名十二日午後三時二十五分哈市から歸京扶桑旅館投宿十三日午後四時三十分發南行

▲濱松工業學生六十三名十二日午前六時來京旭ホテル投宿十三日午前十一時三十分發南行

▲清水商業學生二十二名十二日午前六時二十分發南行

▲東京々橋商業學生三十八名十三日午前七時哈市から歸京、旭ホテル投宿十四日午前十一時三十分發南行

▲山口縣高等女學生二十名十三日午前六時來京同日午後四時三十分發南行

▲兵庫縣聯合青年會員二十名十三日午後一時五十五分來京同日午後九時四十五分發哈市へ

▲大阪カシ化粧品團二十三名十三日午後一時五十五分來京解散

▲大阪製菓曾社員二十五名十三日午前六時來京同日午後四時三十分發南行

鳩で大連へ歸任した

蔣の指令を仰ぎ解決に努力の國府

藏本南京副領事手掛りなし

【南昌十一日發國通】藏本副領事事件に對する帝國の愼重且つ嚴然たる態度に南京政府にては大いに狼狽の色あり、汪精衞外交部長は十一日午前十時外交部亞洲局長沈觀鼎氏を我總領事館に派し、須磨總領事より事情を聽取し支那側捜査方針に就き約四十分に亘り陳述せしめ一方政務次長徐謨、外交次長唐有壬氏以下司長以上を召集し協議を行つた結果、右兩次長を南昌の蔣介石氏の下に急派し重要々件を傳へて蔣氏の指令を仰ぐに決した

日本公使館から十一日ステートメント發表

【上海十一日發國通】藏本副領事失そう事件に就き、我公使舘當局は極めて愼重なる態度を持し想像され得る總ての場合に就き對策考究中であるが先づ事件の眞相を究明するを最緊急事なりとして須磨總領事に對し支那側に通告して捜査に萬善を期すべき旨訓令すると共に十一日夜有野書記官を南京に赴かせる事となつた、尙我が公使舘は十一日午後三時本事件に就き左のステートメントを發表した

藏本失そう事件に就いては公使舘としても非常に憂慮して居るが何分眞相判明せざるため意見發表の時期には達して居ない、現在の措置として事件の眞相を究明することが最緊要事であるから既に夫々必要の手段を了した從つて事件の眞相は早晩必ず判明すべきを信ずるものであるが、其の時期を一日も速かならしむるため支那側の一層の努力を希望するものである

「事件の發展を靜觀」

佐藤海軍武官談

【上海十一日發國通】軍艦對馬の南京派遣決定により、藏本事件に當地海軍側として執る可き當面の對策を一應濟ませた佐藤海軍武官は語る

藏本事件の發生は至極迷惑な事である、日本領事舘側は勿論の事であるが、支那側でも誠意を盡して搜索するといふのだから一應支那側にも依賴してその捜査の經過を見ねばならない、對馬の南京行はたゞ前々からの豫定を繰上げたものである、未だ事件の眞相がよく判明してゐないので、海軍としても何等積極的行動の時期とは考へてゐない、目下のところ我等は事件の發展を靜觀して萬一の場合の對策を研究中である

拉致說頗る有力

【南京十一日發國通】藏本副領事のそう跡は三日に亘る捜査にも拘らず杳として手掛りさへもなく、今や藏本氏の生存は何れの場合を想像して見ても、極めて危ぶまれるに至つた、失そう、自殺、拉致說等何れも確證をつかむに至らぬが、今日迄判明せる藏本副領事失そう直前迄の情況を綜合するに、有吉公使に隨行の巡査に上海での買物を依賴した事遺書らしきものゝなき事失そう前日に新調の洋服が屆けられた事等によつて自殺失そう說は覆され又約一週間前より憲兵隊の私服と覺しきものに尾行されてゐた事、失そうの場所と見られる總領事舘附近は嚴重に警備されて居りその目をかすめて斯くの如き異變は行はれ難き事等により相當權力ある者の掩護下に拉致されたものであるとの拉致說が有力となつてゐる

飽迄強硬

外務省の態度

【東京國通】藏本副領事事件に關して我外務當局は現地よりの報告を基礎として對策を練りつゝあつたが、十一日午後に至り須磨南京總領事より其の後支那政府との間に折衝を重ねた經過並ひに之に處すべき帝國政府の方針に關して現地より見た實情を報告して重大なる請訓をなして來たので外務首腦部の間で協議を重ねてゐるが、苟くも一國の首都たる南京の眞中に於いて日本總領事舘の一員が突如として行方不明となり支那側の警察力を以つてしても既に三晝夜を經過するに未だもつて何等捜査の結果を齎らさざる事に就いては、南京政府當局の誠意を疑はざるを得ず、今回の事件は國匪事件に於ける杉山書記生殺害以來の重大事件として我當局に於ては南京政府に對し嚴重なる措置を要求すべく、あくまで強硬態度を執る事になつた

海軍會議

佛伊の回答を待たず日英米三國間で開始

二國間の默契排撃

【東京十二日發國通】次期海軍會議の豫備會商に關する日英米三國間の準備全く成つたので、愈々來週中には佛伊の回答を待たずサイモン英外相、松平大使、ビンガム米國大使三者の間にパーテイの會談が行はれることゝなつた旨十一日松平駐英大使より外務省に報告があつた、而して之が中心は去る五月十七日英國政府の招請狀に依つて明白なる如く、英國がこれに當り日米と交渉するが、若し英米間に最初會談すること〻なる場合は公平を期するため英國政府は豫めそれと同時に或は以前に日本に通達することゝなつて居り、又爾後の豫備交渉の經過は相互に夫々通達し默契を排して會談の圓滿なる進捗を圖る諒解が成つた模樣である

政局は當分現在の儘陰鬱裡に推移か

大藏問題報告期不明

【東京國通】宇垣總督の上京によつて政局は一時頗に緊張を來したが、坂野少將の聲明の「結果」軍部の反宇垣熱に油を注ぎ宇垣擁立運動は頓挫し、總督の各大臣訪問も單に事務打合せの程度に終り、寧ろこの際であるから愼む可きだとの非難さへ聞かされた、從つて一時淸浦平沼氏等の後繼内閣顏觸れが傳へられたが、其の何れに對しても軍部はこれを歡迎せざる事漸次明瞭となり、目下は大命再降下說さへ現はれてゐるが、今のところ何れに落着くか、全く不明の狀態である、小山法相の中間報告が六月中旬頃行はれる豫定が、延期され何時頃になるか分らないのも政局の歸結が決定しないことゝ關聯あるものと「想像」する外なく、尙暫らく現狀のまゝ政局は陰鬱な空氣に包まれてゐるだらう

宇垣總督動靜

【東京十一日發國通】宇垣總督は十二日午前新宿驛發諏訪湖に向ひ、同夜は同所に一泊十三日朝同所發伊勢大廟、桃山御陵參拜の上郷里岡山へ立寄り墓參をなし歸任の豫定である

滿鐵の土肥人事課長離京

數日に亘つて滿鐵沿線、京圖線を巡視中であつた滿鐵本社人事課長土肥顥氏は十一日午後四時着列車で吉林から歸京一泊の上、十二日午前九時發

次期政權は政友へ

政友總務懇談會意見一致

【東京國通】政友總務懇談會は十一日正午開かれ、現下時局に關する各情報を[illegible]意見の交換をなしたるに内閣瓦解說は[illegible]局政變不可避と見る[illegible]期政權は政黨に歸す[illegible]り外なしといふに[illegible]友會總裁を首班とす[illegible]政民政策協定は時局[illegible]係なく、あくまでも[illegible]針通り協定を實現[illegible]努む可きだと一致[illegible]午散會した

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊 [illegible]
同 遠限 [illegible]
孟買銀塊 [illegible]
紐育銀塊 [illegible]
米英爲替 [illegible]
米日爲替 [illegible]
米支爲替 [illegible]
スチール株 [illegible]
アナコンダ株 [illegible]

▲米棉

限月	値
現物	[illegible]
六月限	[illegible]
八月限	[illegible]
十月限	[illegible]
十二月限	[illegible]
三月限	[illegible]
五月限	[illegible]

▲印棉

ブローチ [illegible]
オームラ [illegible]
ベンゴール [illegible]

▲上海標金

前止 [illegible]
高値 [illegible]
安値 [illegible]
本寄 [illegible]
歩値 [illegible]

▲上海日本向

第一回 [illegible]
第二回 [illegible]
第三回 [illegible]

▲上海倫敦向

賣値 [illegible]
買値 [illegible]

▲上海紐育向

賣値 [illegible]
買値 [illegible]

▲大連金鈔票

現物 [illegible]
近限 [illegible]
(先限) [illegible]
寄付 [illegible]
歩値 [illegible]

▲大連上海向

引止 [illegible]
高値 [illegible]
安値 [illegible]
出來 [illegible]

▲大連煙台向

[illegible]

▲阪神日米爲替

第一回 [illegible]

各地市場

▲大阪株式

新株 [illegible]
新紡 [illegible]
新 [illegible]

▲同短期

新新 [illegible]
新產 [illegible]

▲大連株式

品 [illegible]
限 [illegible]

▲大阪三品

限月	値
當限	[illegible]
七月限	[illegible]
八月限	[illegible]
九月限	[illegible]
十月限	[illegible]
十一月限	[illegible]
先限	[illegible]

▲大阪棉花

當限 [illegible]
先限 [illegible]

▲大阪期米

當限 [illegible]
中限 [illegible]
先限 [illegible]

▲仁川期米

當限 [illegible]
中限 [illegible]
先限 [illegible]

▲橫濱生糸

現物 [illegible]
當限 [illegible]
先限 [illegible]

▲神戸豆粕

六月限 [illegible]
七月限 [illegible]

▲大連特產

カルカツタ麻袋 [illegible]
青筋 [illegible]
鐵筋 [illegible]
爲替 [illegible]
麻袋 現物 [illegible]
六月限 [illegible]
十一月限 [illegible]

新京市況

特產現物出來高 大豆 [illegible] 二車 高粱 [illegible] 六車

錢鈔 鈔票對金票 [illegible] 現大洋對金票 [illegible] 國幣對金票 [illegible] 現大洋對鈔票 [illegible] 錢鈔先物 六月廿八日限 寄付 [illegible] 引値 [illegible] 出來高 [illegible] 鈔票對金票 六月廿八日限 寄付 [illegible] 引値 [illegible] 鈔票對國幣 出來高 四千圓

大豆 袋込 六月限 七月限 八月限 九月限 十月限 [illegible]

豆粕 現物 六月限 七月限 八月限 [illegible]

豆油 現物 六月限 七月限 八月限 九月限 [illegible]

高粱 現物 六月限 七月限 八月限 九月限 [illegible]

青年空の使節

驟雨をつきー若富士號都入り

飛行場は高かに歡迎譜

勇士感激を語る

在滿皇軍將士慰問使、兼日滿親善使節として山梨縣甲府青年俱樂部派遣の空の =勇士= 青年「若富士」號は十二日午前八時十分雨を衝いて奉天を出發、午前十時十五分微雨そぼ降る裡を西尾參謀長、岡村參謀副長、田邊參議、森田交通部大臣代理、高橋金市長代理、航空監督部島田中佐、航空科堀內事務官、小澤、小川兩協和會委員、張世安氏引率の新京市童子團代表十二名その他日滿各官民多數の出迎へのうちに新京飛行場に、その勇姿を橫たへた、少憩の後航空會社格納庫において歡迎委員代表として田邊參議の歡迎の辭があつて、それより丁交通部大臣、金市長、田邊參議贈呈の花輪が森田交通部秘書官令孃節子さんと童子團員からそれぞれ贈られ、終つて勇士の記念撮影をなし =華々= しく入京の第一歩を印した、なほ今回の擧を壯として關東軍交通、監督部、防空協會、總務廳、協和會、在京山梨縣人會では歡迎委員會を組織してこれら空の青年使節を歡迎することとなつた、これら勇士一行は十二日は扇芳亭における委員會の歡迎茶話會に出席後新京神社、忠魂碑、關東軍司令部駐滿海軍部、衛戍病院を歷訪十三日は秩父宮殿下を奉送申上げた後、南嶺、寬城子の戰跡を參拜して午後は政府各方面を訪問、午後六時丁交通部大臣主催の歡迎晩餐會に望む筈である、なほ一行宮川涉、小林俊雄、新島眞一、飛行士井上善一機關士篠原龜久三の五君は十五日午前十時ハルビンへ向け出發、同地から大連へ、一路 =歸鄉= の豫定である、恙なく晴れの都入りをした一行はその旨山梨縣知事及甲府市長宛メッセーヂを發して後、少しも疲れを見せずに語る

この度私達青年團員が在滿將兵慰問と日滿交驩を乘ねて去る一日出發以來各地で絕大な歡迎を受けまして衷心から感謝してゐます、なほ今日は雨中にもかかはらず參謀長、副長始め各日滿官民多數のお迎を受けて感激に絕えません、どうぞ貴紙を通して私達の心からの感謝の意をお傳へ下さい

新京の徵兵檢査は「十六日から」

新京における本年度在留地徵兵檢査は愈々來る十六日から七日間　京商業學校で施行されるが、新京警察署長は本年から在留地徵兵事務官として內地の府縣兵事官と市區町村長の業務を乘掌し五百名に餘る壯丁の受檢に關する諸般の準備業務を整へ約一ヶ月前夫々通達書を交付した、其の後滿洲國政府、滿鐵其他就職の爲め來住した者に對しては能ふ限りの便法を講じて手續を完了し受檢せしむるに到つたものが多いが左記の者は行先不明の爲め通達書交付不能者として各關係方面に所在の搜查中であると

本籍　北海道札幌郡豐平町平岸番外地
出願の際の在留地
新京三笠町四丁目二六
森田淸三郎方
松四郎三男　佐々木松信

なほ檢査場に出頭を命ぜられたる者で左記各號に該當するときは本人又は家族、雇主、知人等に於て兵事係に出頭、所定の手續をせられたい

一、疾病其他身体又は精神の異狀に因り出頭し難きとき
二、本人が所在不明なるとき
三、其他前各號に相當する避くべからざる事故に因り出頭し難きとき
四、本人の直系尊屬妻子が死亡したるとき又は重態のとき
五、本人と同一戶籍內の者死亡し本人に依るに非らざれば後始末を爲すものなきとき
六、本人と同一戶籍內に在る者重態にして本人に依るに非ざれば他に看護をなすものなきとき
七、本人の住家の火災、流失又は倒壞其の他重大なる災害を蒙り本人に依るに非ざれば後始末を爲す者なきとき

吉林佛教婦人會結成式擧行

【吉林國通】この一月以來組織準備中であつた吉林佛教婦人會は會員百二十名を擁し愈よ今十二日東本願寺に於て結成式を擧行呱々の聲を擧げた、各派布教師の說教の外特に奥特務機關長が「第一線に立つ婦人」と題し約一時間に亘る熱辯をふるつて非常時日本婦人としての覺醒を促すところあり大感銘を與へた、大吉林の出現に伴ふて在留邦人五千の聲を聞く時、佛教婦人會の精神運動は各方面より期待されて居る

朝鮮教育視察團來滿

【吉林國通】朝鮮教育會主催滿洲教育視察及び駐滿皇軍慰問團一行十九名は十二日午後零時二十分敦化より來吉、市內各學校及び駐吉部隊慰問の上一泊、十三日午前八時新京に向け出發の豫定

鐵路總局に事故處理報告の規定制定

鐵路總局では從來の自動車運輸業績からみて事故件數が相當數にのぼり、その報告並びに處理が區々になつて統一されてゐなかつたのに鑑み、過般制定された鐵路總局自動車線運送暫定規定に準據し鐵路營業、鐵路運轉事故報告規定を參酌して新に鐵路總局自動車線事故報告並びに處理暫定規程が制定された、なほ重要條項を列擧すれば

一、事故現場からの急報責任者を指定しその急報先を明示したこと
一、急報の方法及びその概要を明示したこと

學長事務取扱を置く　廣島文理大學長事件善後策

【東京國通】廣島文理科大學長武部欽一氏の辭表は文部省では受理するより外なく、學長後任に就ては粟屋次官が乾環教授を學長事務取扱に當らせ學內の反對氣分鎭靜を待つて學長詮衡に入らんとする模樣である

體協の幹部辭職か留任か　けふの理事會注目

【東京國通】極東大會の滿洲國參加問題の責任で三月中旬提出された体育協會幹部等の辭表は平沼男の手許に保留中であるが、同問題は十二日夜の体協理事會に提出されるべく、一部にはマニラの定期總會に大成功を收めたる故今更責任を執る要なしとの說が有力である、而して鄕氏等の辭意は强固であるがその他の理事等も同氏等を見殺しにするに忍びずとなして居り、又平沼男も近親者に最近スポーツ界引退の意を洩し居ると言はれて居り、同日夜の會議に依る幹部連の進退は非常に注目されて居る

御來奉を明日に控へ奉迎氣分橫溢　奉天滿洲側の計畫

【奉天國通】秩父御名代宮殿下の御來奉も愈よ明日に迫つた、諸般の奉迎準備全く整ひ今は當日を待つばかりで、奉天は城內外を擧げ異常な昂奮に渦巻いてゐる、日本側附屬地方面の催しについては既に一通り記したから茲では改めて滿洲國側の熱意の程を見渡して見やう

×

御到着の十三日は日滿官民の賜謁及び奉拜、奉天神社、忠靈塔、三宅部隊、衛戍病院等への御成りで附屬地から御出ましは無いが十四日は兵器廠故宮博物館、北大營北陵等へまた十五日は航空廠へ御成りの豫定で之が御警衛には警察第一、第二兩大隊及び警察廳管下各署全員千數百が當る事になつて居り、總指揮たる審陽警察廳長齊恩銘氏以下幹部は玆數日來全く不眠不休の態だ

×

一般市民の奉迎振りは恐らく奉天始まつて以來空前の情景を見せる筈だ、各戶の國旗掲揚は全く自發的に既に充分行屆いて居り、御到着當日の旗行列は教育廳と市政公署聯絡の下に學生約五千名が繰出すべく當夜の提灯行列も手一パイに擧行される豫定である、城內一帶に建てられた奉迎門は現在十二を數へる、街行く馬車人力車、自動車が御駐奉期間中夫々國旗で飾られる事は言ふまでもあるまい

×

奉天省公署では別に豪華な寫眞帖を獻上申上ぐべく廣く民間側に宣傳して寫眞原版を募集中である

風俗、習慣、建築物、名勝古跡から產業、教育、衛生、社會各方面の狀況、特に事變前後の推移を一目瞭然たらしめる資料をと言ふことで大變な力瘤の入れ方である

×

喇嘛塔の模型（在奉天小倉圓平氏作）と鑛物標本二十五種の獻上、これも省公署の思ひつきであるが何かまだ他に稀らしいものとその後實業廳で準備したものに鹿角、牛膽石人蔘等があり更に警務廳では事變以來兵匪討伐に押收した各種武器それも靑龍刀や槍など目先の變つたもの七十餘種を集めてゐる、教育廳の肝煎で十四日故宮博物館御成の節御台覽に供すべく學生の書畫手藝作品等が多數蒐集されてゐるの等も嬉しい話である

×

これを要するに流石に滿洲では最も教育の普及し文化の進んでゐる奉天人士のことである、今は日本の眞意も秩父宮殿下今次御來滿の意義も充分に諒解し日本側又は官憲の慫慂督促を持たず何時の間にか萬事を自發的に片付けて行かうとする風が馴致されて來たことは特筆に値する事で、事變以來陰に陽に滿洲國人心の安定に力を盡してゐる某要人の如き、これで滿足して目を閉ぢられると泣いて喜んでゐる

丸の內株券拔取犯人　怪盜小林を逮捕

【東京國通】丸の內で時價五十萬圓の株券入りの小包拔取犯人に就き警視廳では大阪警察と連絡をとり、極力搜查に當つてゐたが、株券と同時に行方不明の爲替を淺草局で出した者あり、筆跡により關西方面を株券專門で荒して居る怪盜江戶川區小松町の小林常藏（三四）と判明、午前九時取押へたが盜品の大部分は自宅から押收した

拓け行く滿洲國全貌（五）

善隣　武の宮樣を御迎へして光り輝く

對外貿易狀態

世界的不況は滿洲國にも種々な容相を以て影響して居ることは爭はれない現象である、殊に本年は大豆の豐作飢饉に見舞はれ、農村救濟が叫けばれるほどに農村のの狀態は窮迫し他面ドイツの大豆購入減退、大豆價の暴落に特產商の倒產も尠からず相當憂慮すべき經濟狀態が展開されて居る

しかし國家建設の勇ましい掛聲は土木建築材料の需要を高めまた治安の安定と所謂滿洲景氣に都市に於ける商品消費は相當活潑な景況を見せてゐる、これがため貿易狀態は決して悲觀すべきものではない尤も從來輸出超過を常例とした滿洲國が、昨年から輸入超過國に變轉せんとしてゐる狀況には大いに考慮すべきものがあらう、今貿易狀況を數字について見ると、大同元年度の貿易總額は輸出六億一千六百萬圓、輸入三億百萬圓、總計九億一千七百萬圓で三億一千五百萬圓の輸出超過であつたが、翌二年の全貿易は輸出四億四千八百萬圓、輸入五億一千四百萬圓で、總計九億六千五百萬圓で、元年度に比し輸出一億六千八百萬圓減の輸入二億一千三百萬圓增加で、全貿易に於て四千五百萬圓の增加を示した、尙本年第一、四半期（一、二、三月）に於ける輸出總額は一億一千百十四萬圓、輸入は一億一千五百五十一萬圓、總計二億二千六百六十五萬圓で、四百三十七萬圓の輸入超過を示した、之を昨年同期に比すれば、輸出一千八百七十二萬圓減、輸入四百三十七萬圓減、總貿易額に於て二千三百九萬圓の減少である、最後に、產業開發狀況に於て見るに、滿洲國政府の產業政策の一重要點は「一部階級に利益を壟斷さるゝの弊を除き、萬民共樂ならしむ」といふにあり、資本形態の上からは重要產業に對しては國家資本主義の統制經濟政策を採つてゐる、而して經濟建設の第一期工作たる基礎的事業の著しき進展に伴ひ、愈々產業振興に關する本格的乘出しが企圖され、國務調查局並に農林、工、鑛、畜等各般產業調查機關たる產業調查局設置等產業開發のブレン、トラストとも見るべき大規模な機關の創設が企圖されてゐる

他方統制主義に基く重要產業會社の創立は着々と具体化し既にその成立を見た會社は

滿洲航空會社、昭和製鋼所、滿洲化學工業株式會社、日滿自動車會社、日滿石油會社、滿洲炭鑛會社、日滿マグネシユーム會社、奉天兵器製造會社、滿洲度量衡器製造會社、滿洲棉花會社、滿洲採金株式會社

等十一社で、この外目下設立準備の會社には

大同林業公司、滿洲農地會社、建國電業會社、滿洲鑛業會社

等がある、尙また政府の許可又は自由企業に屬する有望な產業會社の創立計畫は本年に入り俄かにその機運を促進し既に左の諸會社が民間の資本によつて創立されまたは創立されんとして居る

日滿製粉會社、大同殖產會社、大同酒精株式會社、日滿皮革興業會社、ホップビール株式會社、日滿亞麻紡績會社、滿洲セメント株式會社、大同セメント會社、小野田鐵粕セメント、撫順シエール、セメント、東滿人絹パルプ會社、日滿パルプ會社、大德不動產公司、協和建築會社、日佛對滿投資會社（完）

設計を變更　迷信者流を一掃する　西門外の問題の墓

逐に腰を折る

新京西門外大佛寺老道廟小廟附近は國都建設局水道計畫の直線上にあり、約一ケ月前水道工事に着手し、早速同廟の取毀しに取りかゝつたが從業中の苦力が二名相次いで變死したので、迷信深い部落民は廟靈の祟りだとし、早くもその噂がぱつと擴がり、噂は尾にひれをつけて、昨今では夜となく晝となく、二三百人の參詣者が續々と集り、跪坐してお經を上げ傭人夫までが恐れて手を出しかねる仕末に、國都建設局側ではほとほと困り拔き、今月初め頃その設計を變更したが首都警察廳では人心の安定を紊すが如き事あつては罷りならぬと近く善後策を講ずる事となつた

生花の御用を拜した藤井かつ子さん　感涙にむせびながら語る

秩父御名代宮殿下御來駕に際し無上の光榮に浴した數々の市民のうちにこゝにも亦女性のたしなみとして三十數年來生花に精進して斯界の權威に達した古風的風雅な師が擧げられた原籍は廣島縣、室町三丁目に住む藤井カツ子（五一）さんがそれである、殿下御入京と同時に大使館官邸內御宿所の生花方の御用命を拜して毎日御居間、御食堂、應接間御休息所その他階上階下十數箇の =お花= の手入れを添ふしてゐる、かつ子さんを室町の小じんまりした住家に訪れたら流石の老師も喜びを滿面に漂せながら

この度はお役所からお召で御用命を仰せ付かりましたが、私ごとき者が…と思つて一應ご辭退申上げましたが是非とのことで御座いましたので不肖ながらもおつとめさして頂きました、何よりの光榮と存じてはおりますがもう自分としては滿足の至りでいつ死んでも結構でご座ゐます

と語る老師の目尻には熱い涙さへ浮べてゐた、同師は大日本華道家元、池坊正教授、茶道表千家流、不識庵流煎茶の立派な肩書の =持主= で秩父宮殿下が昭和五年御渡滿の時は公主嶺でご用命を拜したものである、なほ同師の門下生である植村春代、赤木常磐、黑笹高代の三女史も師と同時に毎日御宿所の生花の手傳ひを申上げた

尾上梅幸の引退　來年二月亡父卅三回忌後

【東京國通】尾上梅幸は來年二月父菊五郎の卅三回忌追善興行後、舞臺生活から引退するに決定した

奉天新聞支局長小林氏結婚

奉天新聞新京支局長小林規四郎氏は實吉公望、湯畑正一兩氏の媒妁で原田半次郎氏次女淸子孃と結婚來る二十六日午後六時半永樂町扇芳グリルに知己友人を招待して披露宴を張ると

大屯の娘々祭　鐵道收入二千二百五十二圓　三百廿三圓の增加

五月二十八日から六月一日まで五日間開かれた大屯埠豐山の娘々祭に列車を利用した乘客は新京鐵道事務所管內で總數及び金額は一萬六百九十六名二千二百五十二圓二十九錢昨年から見ると一千八百三十四名、三百二十三圓五十三錢の增加であつた、なほ五日間の各日毎の昨年との比較は次の通りである

		昨年	本年
第一日	人員	九三一	一四三二
	金額	二二〇、三四	三三一、八二
第二日	人員	二六四五	二三八二
	金額	六七二、二七	五四一、〇二
第三日	人員	三〇五九	一七四六
	金額	六四四、九六	三二四、五五
第四日	人員	一五九七	三三五七
	金額	三〇四、二三	六八六、五一
第五日	人員	六三〇	一七七九
	金額	八六、九六	三六八、三九

錢家店の水害　邦人十八名は無事

【通遼支局發】水害續報＝憂慮されて居た錢家店地方も減水の兆みへ七日午後三時には最高時より約一尺五寸泣減水するを見降雨なくば漸時減水するものと見られて居る尙連絡杜絕のため相當氣遣れて居た極東生藥農場邦人十八名の安否は調查中の處同地は高地にて生命には別狀なき模樣であるが農場並に附近一帶の本年度農作物は全滅を豫想されて居る、市街は滿人家屋十五ケ浸水幼兒二名の溺が他死を見たに人畜に死傷なき模樣である

通遼通信　通遼も防水設備　現在の處異狀なし

【通遼支局發】錢家店水害の餘波を受け通遼縣城附近まで浸水し縣當局は市內苦力二千五百名を總動員し麻袋八百俵を以つて防水堤を縣城周圍に構築浸水に備へて居るが現在のところ異狀なし

肺を病む青年　手あたり次第に窃盜を働く　自暴自棄となり遊興

最近頻々として現金盜難事件が新京署に屆けられ同署司法係で極力犯人搜查中のところ東京市生れ住所不定元正義團員正子正一（二一）の =所爲= と判明し井上、金、張三刑事が搜查の結果十二日午前二時ごろ永樂町四丁目朴某方に潛伏してゐるを突止め寢込みを襲ひ逮捕し取調べると、六月六日靑木町佐々野新三郎氏方へ侵入し現金百二圓を窃取し同十日東二條通飲食店大和屋に客を裝ひ家人のすきに乘じ金庫から現金九十五圓を窃取した外市內各所で十件余を働きそれを料亭飲食店で消費してゐた何がそうさせたか、犯人は一昨年渡滿し前記正義團本部に雇はれてゐたが肺病に襲はれ醫師の診斷を受けたが全快の見込みがないと宣告されたのを =悲觀= しそれ以來手當り次第に窃盜を働いたと豪語してゐる

街の日記

井上タンス工場賣出好評

奉天井上タンス製造工場では自慢の特製品多數を出品し十二日より三日間市內祝町太子堂で出張賣出を開催中であるが、總桐、四方三方桐各種の優雅なタンス並に鏡台、嫁入道具類を網羅出品して仲々格安、開場第一日より相當な賣行で好評を博してゐる

盜難屆

▲新京醫院入病棟六號小口順子さんは十一日午後一時ごろ同病院內の洗面所で金側腕卷時計一個時價五十圓を窃取された
▲千島町四十六番地大島喜十郎氏は十一日午後十一時三十分ごろ新京會館で二つ折財布在中現金五十圓を窃取された
▲東二條通二十五番地鎌田義雄氏所有自轉車一台を十日午後九時ごろ自宅前で窃取された

拾ひもの

▲中央通四十八番地森洋行內小川義雄氏は十一日午後七時ごろ室町小學校々庭で現金四圓を拾つた

けふの銀相場

鈔票對金票	二二円四五錢
現大洋對金票	一〇七円四四錢
國幣對金票	一〇六円三二錢
現大洋對鈔票	九六円四〇錢

新版 江戸八景（禁上演上映）
行友李風氏作 鏡 鐘平他二氏畫

江戸役者と御殿女中
七一 行友李風

暖簾を出た菊路は、藤十郎の挨拶をうけて。

『おゝ、爺いや。——そちとても、達者で何よりぢや。何時々々までも、神妙に勤めくれて、わらはも、かげながら、嬉しう思ひまする——』

『ありがたうござりまする』

『して、お兄様は？——』

『はい。御前様も、もう、先刻より、まだか〳〵と、よほどのお待ちかねにござりまする。——さ、どうぞお通り遊ばしませ——』

——よかつた。……待ちかねてゐるとあれば、まづ大丈夫——』

と、すぐ、玄關から上へ上る。藤十郎は、裏方に向つて。

『これは、お裏方。遠路御苦勞に存ずる。——お裏手へまはつてゆつくりと、休息いたしてくれまやう——』

と、一同に、挨拶してゐる。

この間に、菊路は、奥へ通ると、かの離れの書院に、寝てゐる筈の兄弓之助が、にこやかに笑つてこちらを見てゐるから、呆氣にとられて。

『まあ、——お兄様。この御様子は……』

『はゝゝ菊か。——よう參りくれた——』

弓之助は、心なしに、顔色がよくなく思はれるもの、元氣な聲じ。

『待ちかねてをつた。——さ、こちらへ——』

菊路は、はりつめてゐた氣がくづれて、崩れるやうに座につきながら。

『でも、……まあ……一昨日から、御大病とのお手紙がまゐりましたので、かうして……』

『おゝ〳〵、驚つたであらう……』

『はい、それで、かうしてまゐりましたのに……』

『はゝゝ さうか。——起きてゐるのに驚いたわけか』

『……』

『……』

『何はな。——疲れと申したのは、あれは、嘘ぢや——』

『まあ——』

菊路は、あきれて。

『嘘でござりまするつて……』

『さうぢや——』

『……』

菊路は、あきれると同時にくやしくなつて。

『お兄様。——嘘も御冗談も、事と品によりではござりませぬか。御病氣だなどと、……わたくしは、まあ、くる路にも、どのやうに心配いたしましたことか。……』

『はゝゝまあ、さう怒るな、嘘も方便、——これには、また、仔細があるのぢや——』

『でも、どのやうな仔細かは存じませぬが、……いくら方便にしましても、御病氣などと不吉なことは、これからは、もう、きつと遊ばしますなよ』

『よし〳〵、——まあ、さう怒るな——』

弓之助は、笑つて。

『仔細をいはねばわからぬぢやらうが、實は、斯様な次第。——昨日、にはかに、ひ立つての、別に、御祥忌といふでもないが、ふと、先祖代々のお位牌に、供養の眞似事をいたさうと存じたわけぢや、それも、一家親類へも沙汰なし。ほんの内證で、その方だけを招きよせて、兄妹睦まじく御回向申したなれば、佛も御滿足に存さうと心得たが、何分、火急のおもひ立ちゆゑ、御殿の首尾も如何かと存じ、とちに心配騒ぎをかけることとはおもつたが、他にいい手立てもない儘に思ひついたがにせ病ぢや——』

六月三十日 水曜 乙卯 赤口 三十日 收 壁宿 一白

●一白の人 理論を失ひ感情に走りて失費を招く事あり 申と辛と寅が吉
●二黒の人 利慾に眼眩みて情義を失はんとする事あり 丙と坤と癸が吉
●三碧の人 辛勞も雲の霽れたる如く全く散逸して大吉 乙と辛と寅が吉
●四緑の人 次第に活路を見出して良運に惠まる丶吉日 丙と辛と寅が吉
●五黄の人、身心の勞苦深かるべき日普請造作開店見合 甲と巳と坤が吉
●六白の人 旺盛なる氣運を保てど陷穽に陷らぬ様注意 乙と丁と申が吉
●七赤の人 時宜に應じて進退し勢に誇らざるによろし 丙と申と癸が吉
●八白の人 些細の事にも緻密の考慮を要す輕卒は失敗 巽と申と壬が吉
●九紫の人 一事を守り難く氣移り多く諸事通達せぬ日 庚と亥と寅が吉

大阪商船出帆

門司、神戸（大阪）行

×印二三等船客設備船
▲印 廣島寄港
（午前十時大連出帆）

船名	出帆日
ばいかる丸	六月廿五日
▲×志あとる丸	六月十四日
扶桑丸	六月十六日
はるびん丸	六月十八日
うらる丸	六月二十日
×たこま丸	六月廿二日
うすりい丸	六月廿三日
香港丸	月 日

切符發賣所
滿鐵沿線主要各驛及各地ジヤパンツーリストビユーロー案内所
船車連絡切符（往復切符は汽車二割引、汽船一割引通用期間三ヶ月）
大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符は復路運賃二割引通用期間三ヶ月）

專屬荷扱所 各地國際運輸會社支店
大阪商船株式會社
大連支店電話四一三七番
奉天出張所電話四〇八九番
新京出張所電話二二一六番

新京日日新聞
朝刊
本紙夕刊共八頁
本紙定價 一部五錢 一ケ月一圓 前金 一ケ年 十一圓
廣告料 普通一行 一圓三十錢 特別 二圓五十錢
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一 電話三二一五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎

秩父御名代宮殿下 御歸還の途に

いとゞ御名殘惜しく 今朝八時卅分御離京

新京驛頭日滿官民奉送裡に 菱刈大將以下供奉

輝やく重大御使命を果させられ秩父御名代宮殿下には、いよいよ今十三日午前八時三十分奉天へ向け御出發遊ばされることになつた、これより先き御名殘惜しくも殿下を奉送申上げる首都新京は御道筋の朝日通、八島通、中央通にかけて日滿兩國軍隊、各學校生徒兒童、各種團体、その他一般市民ら驛頭まで整然と堵列し、いづれも襟を正してお待ち申上げる、やがて午前八時まえには日滿要人高官連はいづれも第一禮裝に威儀を正して驛構内に續々參集、發車ホーム御召列車展望台を中心に日本側上長官は右側、滿洲國政府側特任簡任官は軍樂隊とともに左側に列を整へる、この日滿洲國皇帝陛下には御見送りのため入江宮内府次長を勅使として御差遣あらせられ、同勅使は陛下の御言葉かしこみて午前八時二十分新京驛着、菱刈軍司令官とともに正面玄關に殿下をお待ち申上ぐれば、殿下には午前八時十七分御旅館御發同二十五分驛玄關に着御遊ばされ、入江勅使並に菱刈司令官の誘導で發車ホームに赴かる、御召車前にて入江勅使から皇帝よりの御挨拶を言上、殿下にはこれに御答へ遊ばされ、諸員最敬禮裡に御召車展望台に立たせ給ふ折柄起る軍樂隊の「君ヶ代」吹奏とともに御發車の汽笛は萬民奉送の興奮に波打つ新京の空に響き亘つて、御召車は靜かに御發車の御豫定である、なほ日本側から菱刈全權、西尾參謀長、田代憲兵司令官、大場警務局長、また滿洲國側から沈首席接伴員以下各委員、謝外交部大臣以下同車、大連又は奉天まで供奉申上げることになつてゐる

殿下奉天の御日程

秩父宮殿下奉天驛御着より奉天御滯在間の御日程は次の通りで在らせらる

六月十三日　午後奉天驛御着　日滿官民賜謁及奉拜、奉天神社、忠靈塔、獨立守備隊司令部、衛戍病院御成、軍司令官主催晩餐御成

六月十四日　午前野戰兵器廠、故宮博物館御成、奉天省長主催午餐御成、午後北大營、北陵御成、總領事主催晩餐御成

六月十五日　午前航空廠御成　奉天驛御發

フヰルムに納つた 南嶺戰跡と國都建設狀況

秩父御名代宮殿下の御土産

秩父御名代宮殿下には御滯京中の一日を南嶺、寛城子の戰跡御慰問にお費し遊ばされたき御意向も日夜寸暇なき御多忙なる御行事に御時間なく御遺憾に思召されあるやに洩れ承るが、南嶺の戰跡を十六ミリカメラに收めると同時に國都の建設狀況を撮影　皇太后陛下への御土産となさるべき御意を拜し、隨員溝口氏は滿鐵稻葉庶務係長關東軍西川大尉、在鄕軍人會副會長下德直助氏の案内にて十一日午後二時半より午後六時半の四時間に亘り市内各所の建設狀況及び南嶺の戰跡を隈なくフイルムに收めた、同フイルムは日本に至り現像の上　皇太后陛下の御台覽に供することになつたが、今更ながら秩父宮殿下の將兵に對する御仁慈、皇太后陛下に對する御孝心の深さは拜察するだに畏き極みである

寫眞は 宮廷府で最後の御握手を遊される御二方（上）と殿下奉天の御旅館奉天總領事舘（下）

接伴關係者に御鄭重な供餐

秩父御名代宮殿下には御駐京すでに一週日にわたらせられ十三日に御發奉天に向はせらるゝにつき接伴關係者の勞を犒はせらるゝ厚き御思召から十二日夜大和ホテルに晩餐會を御催しあそばされた、これより先き殿下には午後四時五十分御旅館御發、大和ホテルに成らせられたが御召の光榮に浴した菱刈大使、鄭國務總理、沈宮相その他接伴員並に接伴關係委員は御鄭重なる供餐を辱ふしいづれも殿下の御仁慈に感激してひたすら御歸路御平穩を祈りつゝ退出した

高橋是賢子一行離京

約半月に亘り新京を振り出しにハルビン、撫順、奉天、鞍山、大連と各地の經濟事情を觀察中であつた高橋是賢子一行四名は十二日午前六時來京少憩後直ちに同六時三十分發列車で吉林に向つたが一泊の上清津經由歸國の途に就く筈である

昨日午餐會後 康德帝と殿下御散策

お親はしき御姿に一同感激

滿洲國皇帝には夕刊所報の如く十二日宮廷府において秩父御名代宮殿下とお別れの午餐會を御催しあそばされたが

當日は皇后陛下も出御あらせられ、午餐會終了後兩陛下並に秩父宮殿下にはお揃ひで、色々とお親はしき御言葉を御交せられながらしばらく園内を御散策あそばされ、そのうるはしい情景に陪食の光榮に浴した一同はいたく感動しことに勤民樓前において　皇帝と殿下が最後の堅い握手を遊ばされた際はお側に居並らんでゐた

一同はいきづまるやうな感激をおぼへさせられたとのことである

讀者の聲

滿洲國の首都は「長春」にあらず

S、T生

滿洲國の首都は「長春」を「新京」と命名昭和七年三月十五日より之を使用することに決し現在に至るものなることは今更吾人が喋々する迄もないのであるが六日夜の提灯行列に於て意外にも「長春商業學校」「長春高等女學校」の高張提灯を目擊し現在右二校の當局者は「新京」となりし事實を知悉せざりしやを疑ふ者にして或は新提灯を製する豫算の配付を受け居らざりし爲め長春時代の遺物を其儘餘儀なく使用せざるべからざる結果なりしや又は只單に無意識に使用せしものとせば當局者の失態も甚だしきものと言はざるを得ない吾人は兩校當局者は本紙上に於て其の事由を表明せらるゝと同時に「新京」中學校同樣新京とせるものを直に調製せらるゝを切に希望する者である

投稿歡迎
紙上匿名は可なるも一應住所氏名を御知らせを乞ふ
中傷はとらず

局子街分館改稱さる

在間島帝國總領事館局子街分館は十二日より延吉分館と改稱された

民間代表渡露

【東京國通】モスクワに開かれるルーブル換算率改正交渉出席の民間代表田中丸裕厚氏は十九日午後一時東京驛發シベリア經由渡露と決定した

滿洲國新豫算

來週中査定成るか

康德元年度滿洲國政府歲出豫算はその後引續き主計處と各部間に於て折衝を重ねつゝあるが、屢報の如く本豫算は幾多注目すべき新規項目を含んで居り、殊に新年度豫算の運命を決すると言へさはれて居る給與令の改正は先の臨時閣議に於て最初の審議を行ひ、目下細目修正中である、右修正案が十三日の閣議を通過すれば、遲くも今週末迄には査定案の作成も完成するものと觀られてゐる

藏本南京副領事失踪事件

有吉公使を派遣 斷乎たる處置に出ん

南京政府行方捜査に藉口便々

【東京國通】外務省では南京政府が藏本副領事失そう事件の誠意ある調査を怠り行方捜査に藉口して便々と日を送つてゐるに於ては公使館員の生命財産に危險ありとし、態度如何に依つては上海にある有吉公使を南京に派遣し、斷乎たる措置を講ずる用意を爲し形勢を監視中である

今明日中に 重大要求提出

有野書記官應援に到着

【南京十二日發國通】藏本副領事失そう事件發生以來既に五日となり、事件は今や單純な警察的捜査の時期から、外交的折衝の時期に入らんとしてゐる、支那各地に於ける類似事件の前例に鑑み、藏本副領事の行方も最早や發見出來ぬものと觀られるが、南京總領事館では十一日夜に至り本省からの回訓に接したものゝ如く、十二日應援のため到着した有野書記官の協力を待ち愈よ今明日中に或種の重大な要求を提出するものと解される、有野書記官と同車し上海より到着した若井書記生は須磨總領事と打合せを遂げた後十二日午後の汽車で一旦上海に歸り、有吉公使に現地の事情一切を報告する筈である

藏本副領事失踪に 母堂悲嘆に暮る

【大阪國通】藏本副領事の母堂ゆき子（六八）妹みつゑ（二四）さんの寄寓してゐる黒川方を訪問するとみね子の緣談を相談して手紙を出しその返事が來るのを待つてゐる時こんな事になりと流石に子を思ふ親心、憂ひに沈んで居る

須磨總領事

國府首腦部訪問嚴重警告せん

【東京國通】須磨南京總領事は十二日外務省に公電を寄せ藏本副領事失そう事件に就き十三日南京政府首腦部を訪問本國政府の訓令を執行して嚴重なる警告を與へると共に或種の申入れを爲す事となつた旨報告し來つた即ち右内容は重ねて支那側の藏本副領事失そう事件に對する一層の捜査努力を要望し國民政府が誠意を以て之を履行せざれば、我方として適宜なる手段に訴へて之が探査を斷行する權利を留保するものである

帝國政府は右と併せて反日テロ團体秘密結社の彈壓をも南京政府に要求する事となるべく又事態の成行き如何に依つては有吉公使をして支那側と外交々渉を行はしめる事となるものと觀られ、藏本事件は十三日須磨總領事と南京政府首腦者との會見に依つて一大展開をなすものと重視されてゐる

ルーブル換算率協定 近日中開始か

大田大使種々協議

【モスクワ十一日發國通】モスクワ駐剳大田大使は本省の訓令に基き、十一日午後外務人民委員部に委員部長ストモニアコフ氏を訪問し、前後三時間に亘りルーブル換算率改定交渉に就き重要打合せを遂げ帝國政府は右交渉を純然たる技術的交渉と解釋してゐるので、大田大使は十一日の會見に於て特に右見解を强調しソ聯政府との間に誤解の起る事なき樣充分注意した、右會見の結果、ルーブル換算率改定交渉は愈よ近日中にモスクワに於て開始される運ひとなつた

大倉が 山東鑛業株肩替申込

【東京國通】大倉組では滿洲の關係會社株公開方針に應じ山東鑛業の滿鐵所有四萬三千百株の肩替りを東京支社に正式申込みを爲したが、此の商談は内地での皮切りである

偶語

秩父御名代宮殿下には、日滿兩帝國、國交上最も重大なる御使命を完全に果させられ、けふ御名殘惜しくも御離京遊ばされる▼殿下此度の御來滿は惟ふも畏きことながら兩國皇室の御交誼および兩國の親善に一層拍車をかけさせ給ふたもので、その御業績は極めて重大なものと拜察申上げる次第である▼吾々特に滿洲の地に在る者は、畏き殿下の御使命を拜して、今後の責務ますます重且つ大なるを感じ一意以て邦家のために盡す覺悟が必要である▼殿下には御途中奉天にも立寄らせ給ひ、奉天御滯在中も各方面に御成り三日間御滯在のうへ、十五日奉天を御出立、大連を經て御歸國遊ばされる御豫定と承るが▼重大なる御使命を果せられた殿下の御歸朝を迎へ奉る故國九千萬同胞の歡喜もまた一入であらうと想像され謹んで殿下御歸程の御安泰を祈り奉る▼惜しくも降雨のため中止となつた滿鐵運動會が來る十七日に盛大に催される、再開か否かについては兎角の議論があつたやうだがいよいよ再開と決つたのはよく▼今度は特に「社員慰安」と銘打つ以上は勝敗など度外視せぬといつても負けるよりも勝つた方がよい道理で、選手諸クンの折角の健鬪が望ましい

天氣	北西風驟雨後晴
氣温	最高 十八度七 最低 十四度七
日出	前三時五十六分
日入	後七時二十二分
月出	前四時二十一分
月入	後八時三十九分
滿潮	前　後
干潮	前　後

純眞な童眼に映じた 日滿兩國人觀

長短相反する兩國人の個性 滿鐵の新しい試み

滿鐵本社學務課で本年五月下旬最初の試みとして全滿各初等學校（日、滿學校とも）の五年生以上の兒童に對して一齊に一日の猶豫もあたへずその場で次のやうな問題の答案を書かせた、純眞な童眼に映じた日滿兩國民の長、短所がハッキリ答案に書き出され、然もその答案には期せずして日本の子供がみた目と、滿洲人のみた目と殆ど一致してゐると同時に日本人の長所が滿人の短所となり、日本人の短所が滿人の長所として擧げられた對照的な現象も伺はれる

問題

一、日本人の長所（第一、二、三、四）

一、日本人の短所（第一、二、三、四）

一、滿洲國人の長所（第一、二、三、四）

一、滿洲國人の短所（第一、二、三、四）

右の問題に對する室町小學校及び新京公學校の兒童が書いたものでロを揃へたやうに同じ長短所を擧げてゐるのを摘發してみよう

▲室町の分

一、日本人の長所
イ、天皇陛下を尊敬する
ロ、皇室中心主義
ハ、國家のためによく働く
ニ、禮儀正しい
ホ、清潔、整頓を好む

一、日本人の短所
イ、短氣でけんくわする
ロ、ぜいたく
ハ、滿人を馬鹿にする
ニ、カフェーでお酒を飲む
ホ、金遣ひが多い

一、滿洲國人の長所
イ、よく働く
ロ、氣が長い
ハ、辛捧強い
ニ、ぜいたくをしない

一、滿洲國人の短所
イ、どろぼうする
ロ、ハナを手でかむ
ハ、たんを道路にはく
ニ、不衛生で穢い

右で見ると日本人の快々的、滿人の等一等的、日本人の清潔好きで衛生的であるに反して滿人は不潔で非衛生的な面白い對照がよく現れてゐる

▲公學校の分（滿洲人）

一、日本人の長所
イ、清潔を好む
ロ、禮儀を重ず
ハ、研究心に富む

一、日本人の短所
イ、酒を好むこと最も甚しい
ロ、貧困な者を輕視する
ハ、馬車賃を拂はない
ニ、亂暴である

一、滿人の長所
イ、慈善
ロ、勞動に耐ゆ
ハ、愛を親む
ニ、溫和

一、滿人の短所
イ、阿片を吸つて中毒になる
ロ、嘘言をいふ
ハ、怠惰
ニ、不潔

大体右のやうなものが重なものであるが、滿人の子供たちも阿片の有害も、怠惰が悪いこともよく判つてはゐるらしい、又先進國である日本人が五錢、十錢の馬車代を拂はずに弱い滿人を困らせる者が多いのが滿人間にはどんなに響くかこれ等いたいけない兒童のいつはらぬ答案で大いに考へさせられるものがある、なほ滿鐵學務課では全滿から集めた答案を纏めて整理した上正式に發表することゝなつてゐるがその結果は日滿兩國人向上の好指になるものと期待されてゐる

けふ遺骨八体到着 太子堂で通夜

皆様出迎へませう

けふ午後三時二十五分着列車でハルビンから八体、同日午後四時着列車で吉林方面から十体の遺骨が新京驛に到着する、同夜は祝町太子堂で御通夜が行はれる、市民は擧つて驛頭に出迎へ、晩は御通夜に參列しませう、なほ他の二体とともに合計二十体の遺骨は十四日午前九時三十分發列車で内地へ還送される

空の使節都入り

山梨縣甲府倶樂部派遣の空の使節若富士號はきのふ西尾參謀長、岡村參謀副長等日滿官民多數出迎裡に折柄の銀絲そぼ降る飛行場に晴れの都入りをした（寫眞は若富士號）

奉送の辭

鄭國務總理謹話

日本國 皇帝陛下の御名代、秩父宮殿下には御到着以來御多忙なる御日程の一週日間を國都新京におすごしあそばされ本日御無事に御出發御歸途につかせられることは實に慶賀の至りでありまして謹んで奉送申上げる次第であります御在京中は宮中の御儀式をはじめとして各方面の御應接、御視察などの際親しく御英姿に咫尺するの光榮に浴しました自分は、殿下の御精勵御格勤にひたすら敬畏を申上げてゐる一人でありますが、ことに各方面の實情をそれぞれ責任の地位にある關係者から詳細に御聽取あらせられた由を拜聞し、如何に我が滿洲國の國情に關し多大の御關心を有せられつゝあるかを拜察して恐懼の外はなかつたのであります、今建設工事の半途にある國都新京においては御滯在中御視察の御不便はもとより御旅情を御慰め申上ぐべき何らの設備とてなかりし點恐懼の至りでありました、申すもかしこき極みながら、殿下今回の御來滿は日滿兩國皇室間の御親交の楔たる御役目をはたさせられたるのみならず眞に兩國々交上に一時紀を劃せられたる御儀を思ひ、その御成功を衷心から御慶び申上げる次第であります、重ねて謹みて敬意を表し御旅程の御平安をお祈り申上げる次第であります

御名代宮殿下を御送り奉りて

沈宮內府大臣謹話

今回秩父宮殿下には畏くも日本帝國 天皇陛下の御名代として御來滿遊ばされ重き御使命を滯りなく果させ給ひ本日御歸國の途に上らせ給ふことは洵に芽出たき極みでありまする茲に殿下を奉送するに方り聊か誠を盡して所懷を申し述べたいと思ひます

我滿洲帝國は建國日淺くして物力未だ充分ならず、一切の建設亦多くは完備して居りませぬ、從て供奉に至らない點が甚だ多かつたことは只管恐懼に堪へませぬ、只我朝野上下の殿下に對し奉り發露致しました歡迎の熱誠がこの欠略の幾分かを補ひ得たことゝ信じ自ら慰めて居ります

日滿兩帝國皇室の御交誼及兩國の國交は日に緊密を加へて居りますが、殿下今次の御來滿に依りて我國民をして兩國の關係が尋常ならざることを一層深かく肝銘せしめましたこの意味に於て殿下の當國に御殘し遊ばされた御業績は極めて重大なものと拜察致します、殊に殿下の英偉なる御風采と雍容なる御態度を親しく拜しました者は孰れも敬仰の誠意を一段強くし御盛德に感激して居ります、本日殿下を奉送するに方り我國民は擧て慇懃に思慕の赤誠を捧げ以て平安なる御旅程を祈つて居ることゝ確信致します

謝介石謹話

外交部大臣

我帝國最初の國賓として御駐京遊ばされました秩父宮殿下には重き御使命を果させ給ひ今日御歸國の途に就かせ給ふ殿下が日本帝國 天皇陛下の勅命を奉じて御來滿遊ばされましたことは洵に畏いことで御座いますが、國際外交史上將又日滿國交上最も意義深く又最も紀念すべきことであります、我滿洲帝國の國際的位置は殿下の御來滿に依て一段と高められ我朝野の擧て光榮とし且つ謝致す處であります殿下御駐京中我國民の歡喜は言語に絶し眞に歡迎の熱誠を現す途なきを嘆じた次第でありますが、如何にせん國都は建設の半途でありまして一切設備が完全でなかつたことは恐懼に堪へませぬ、私は命を奉じて殿下を大連に奉送致しますが身に餘る光榮と存じ感激に堪へず只一途に衷心より殿下御歸程の御安泰ならんことを祈念して居る次第であります

新京の簡閲點呼は 七月廿七日から西廣場校で

轉居は直に屆出の事

本年度の簡閲點呼は新京及附近居住者は七月二十七日より八月四日までの八日間西廣場小學校で獨立守備隊第〇〇隊長本間中佐執行官となり行はれるが、事前の住所異動及び在郷軍人名簿上の住所に居住してゐないものは此際至急新京署兵事係まで屆出られたいと當局は望んでゐる、右につき新京署三橋兵事係主任は語る

簡閲點呼の重要性は周知のことで今更多言を要しませんが滿洲國の奠都以來邦人の在留頓に增大し在郷軍人關係の事務も自ら激增致しましたので點呼關係にのみ一人の係員を專務として從事せしむる有樣で昨年の如く多數の事故者を出しては當事者として申譯がありませんから本年は特に點呼參會年次該當者に對し署長並新京聯合分會長の連名を以て別項のやうな通知書を發しました、在郷軍人は自己の住所を兵役法施行規則第六十五條に據り所轄署官を經て關東軍司令官に屆出で其の兵役關係は本籍地と異同樣に取扱はるゝものであることを深く認識して爾後住所の異動に從ひ屆出を正確に履行していただきたいいざ令狀を交付せんとするとき在郷軍人名簿上の住所に居住しないものが比較的多數ありますので之が處理に狼狽しておりますので左記のやうな事故がありましたときは在留邦人の各位がこれに關心を深くし在郷軍人を援助して混然一体となり重大なる兵役義務の遂行に萬遺算なきを期せらるゝやう切望してやまないのであります

一、行先不明の爲め令狀を交付し得ざるとき

二、令狀を受けたるも避くべからざる事故の爲め期日の變更を要するとき

三、疾病、犯罪、所在不明となりたるとき

四、本人の直系卑屬、變子死亡したるとき又は重態なるとき

五、本人と同一戶籍内に在るゝの死亡し本人に依るに非ざれば後始末をなす者なきとき

六、點呼に際し同一戶籍内に在る者重態にして、本人に依るに非ざれば他に看護を爲す者なきとき

七、本人の住家の火災、流失又は倒壞其の他重大なる災害を蒙り本人に依るに非ざれば後始末を爲す者なきとき

なほ孟家屯以南陶家屯以北は八月十一日范家屯小學校で、劉房子以南郭家店以北は八月十二日公主嶺小學校でそれぞれ行はれる

協和會地方事務局 新京に設置

思想統一、文化向上を期す

協和會新京辦事處では設立以來長春縣下の文化工作に活躍して地方民衆の絶大なる信望を受けつゝあつたが、最近では主要都市卡倫、萬寶山、小合隆、米沙子、新立屯、朱家城子の各地に分會を設置し、縣下に亘つて約四千名の會員を包含し、着々と＝民衆＝の思想統一、文化向上に貢獻して來つたが、近く新京地方事務局の結成を見るに至つた、該地方事務局開設の曉は更に工作範圍を擴大して積極的活動に乘り出すこととなり、これが準備工作として農安、德惠、長嶺、乾安、開通諸縣の一大工作を企圖しつゝあるが、同地方は交通不便にして國都新京に近接の地にも拘らず依然等閑に附せられてゐるので、縣民は新國家に對する認識を缺き、建國精神は殆んど普及されない狀勢にある、そのため稍もすれば對日感情の惡化をさへ見る現狀に鑑み、協和會では文化工作の＝焦眉＝の必要性を認め地方事務局の新設によつて鋭意地方民の思想統一並に民族協和運動に努めることとなつた

洲外滿鐵中等學校聯合武道大會 商業校出場選手決定

來る十七日奉天中學校で行はれる洲外滿鐵中等學校聯合武道大會出場の商業學校武道部選手は左の如く決定した

劍道部選手

五年 田浦正成 小掠直人 綿鍋六次郎

四年 角谷昌榮 宮島伊滿男 榊滿男 泉淳甫

三年 伊藤宏 玉井一正 渡邊利雄

補欠 岡井龍一 星直人

柔道部選手 森田勇 藤本裕次 川口剛 石田富福 松並弘 猪尾清一 藤井侃 田中亮太郎 坂根廣 齋藤保久 北山正道

補欠 大川博

なほ今年は昨年の雪辱の意味で猛練習が行はれ、五百余の應援團もわれ等の選手が晴れの舞台を踏む日のために熱狂してゐる

穀物の輸入は三ケ月間無税

サ國慘害救濟對策

【サンサルバドル十一日發國通】大颶風慘害救濟に關し大統領マルチネス氏は災害地の物價騰貴を防止するため十一日左の如き布告を發した

一、食糧品の價格は一切變更を許さず

一、小麥、米、其他穀類の輸入稅は向ふ三ケ月免除す

サルバドルの大颶風

農作全滅多數 死傷者を出す

【サンサルバドル十一日發國通】サルバドル共和國を襲つた一大颶風の慘害は一歩は一歩より甚しく共和國全土の農園は悉く甚大な損害を受け、農業全滅の有樣であり、共和國の中部を東西に貫通する中米國際鐵道の線路も洪水に押し流され、線路から大分離れた地點に列車が顚覆して居り乘客は全部慘死を遂げたものと觀られて居る、突然の天災に病院其他衞生機關も悉く破壞され多數の屍體は地上に投出されて居る狀態で熱帶國だけに惡疫が流行するのではないかと懸念されるに至つた

朝鮮料亭の登樓客は泥棒

十一日午後零時ごろ三笠町三丁目十七番地朝鮮料理店新京館に三十歳前後の內地人が登樓し、同家酌婦金允淳をあげ遊興し、午前二時ごろ酌婦の就寢中同室においてあつた婦人用洋服時價二十六圓、同富士絹ワイシャツ一枚時價五圓を竊取逃走した

西廣場小學校 慰安映畫會

西廣場小學校では十二日午後一時から高等女學校講堂で全校千六百余の兒童のため慰安映畫會を催した（海の生命線）（天覽相撲）「ノラクラ伍長」等盛澤山で全兒童は愉快な午後を送つた

變死か隱遁か 尾關東福寺管長歸らず

【京都國通】臨濟宗東福寺派の管長尾關本孝氏【六三】は五日朝散歩に出た儘行方不明だが、悟道に徹した禪僧なので後進に途を開くため姿を隱したのか變死かと憂慮されてゐる

顧鐵道部長の瀆職事件 孫科一派の暴露戰術か

【上海十二日發國通】南京政府鐵道部長顧孟余瀆職事件の內情に關し信ずべき筋への情報によれば最近孫科は如何に汪精衞一派に楯つくも行政院長の椅子を乘取り得ざるを察知し寧ろ汪派要人の瀆職事件を暴露して失脚せしめんとの魂膽より今回の如き暴露戰術をとつたもので南京政府部內の內紛は益々擴大の模樣である

歡喜緊張裡に急ぐ 御歡迎準備

奉天は高らかに御歡迎前奏曲

【奉天國通】全奉天を擧げて御待ち申上げた殿下の御來奉も愈々十三日に迫つた、驛前浪速通入口、商埠地浪速通境馬路灣、大東邊門、小西邊門外の五ケ所に飾られた奉迎アーチの大樓上に翩飜と飜る日滿國旗、掃き清められた道路往行く人の眉宇にも言ひ知れぬ喜びの色が漂つてゐる、各官廳は喜びの裡にも極度の緊張の色を見せ、最後の奉迎準備にラスト、ヘビーをかけてゐる、朗らかな御歡迎前奏曲である

御先導の榮に浴する

鎌田驛長謹話

【奉天國通】秩父御名代宮殿下の御來奉を十三日に控へ、奉天全市は今や感激の絶頂に達してゐるが、殿下奉天御成りの砌り光榮の御先導を承る鎌田驛長を訪へば、左の如く謹話した

愈々明日秩父御名代宮殿下を當驛に御迎へする事となり、私始め驛員一同感激の中にも責任の重大さを痛感し奉迎準備に萬遺憾無きを期して居ます、直接鐵道に携はつて居る私達としましては責務の重大なる事は申す迄もありませんが、殿下が御無事御使命を了へさせられ御恙あらせられず御歸國遊ばされん事を心から祈り申上げる次第です

鏡泊學園山內總務以下七遺骨 十二日離滿

【大連國通】鏡泊湖畔で匪賊の兇手に斃れた鏡泊學園山內總務以下七名の遺骨は小林行氏に護られ十二日午前十時出帆のうすりい丸で離滿した

居住消息

▲米田彥三郎氏（兵庫縣）吉野町五丁目六番地へ

▲吉木正光氏（福岡縣）上海から老松町二丁目十二番地へ

▲鹽原四郎氏（靜岡縣）大連から羽衣町十二番地ノ二、

▲小口孫六氏（長野縣）中央通り五十番地へ

▲村上敦美氏（熊本縣）哈市から大和通り七十三番地向陽ホテルへ

▲坂島久雄氏（新潟縣）大連から日本橋通り八十二番地中野方へ

▲佐藤弘氏（栃木縣）奉天から常盤町二丁目四番地ノ一鯉沼方へ

▲松村長榮氏（山口縣）遼陽から室町一丁目四番地へ

▲勝久元氏（鹿兒島縣）大連から露月町二丁目三十五號ノ二山口方へ

▲有馬純德氏（鹿兒島縣）日本橋通り六十番地山下方へ

轉居

▲中木勇吉氏關東新官舍から住吉町三丁目二番地へ

▲小島軍治氏曙町一丁目十七番地から平安町一丁目十一番地局官舍三號へ

▲廣石吉雄氏（羽衣町三丁目十八番地）女滿子さん四日出生

▲長澤龜代治氏（大和通り四十二番地）次女暢子さん一日出生

▲中山ギンさん（新京醫院）十一日午後五時死亡

▲室金次郎氏（常盤町三丁目十一番地ノ十八）十一日午前六時十分死亡

▲宮本直氏（東五條通り三番地）男直也さん十日午前三時死亡

鴉片零賣所公營論

島村一民（一）

一、支那鴉片の起源及政策

鴉片（阿片）と云ふのは藥名オピアムの譯であつて、古書には多く阿芙蓉とか亞芙蓉とか書いてある、支那の醫師等が四百年以前から鴉片を藥用として使用して來た模樣である、外國鴉片が支那へ傳來したのは西紀千六百二十四年以後であつて、當時の台灣はマラリヤが多いので、移住者が非常に惱まされてゐたが、煙草の中に鴉片を混じて吸飮するとマラリヤが癒ると云ふので、此れが非常に流行し出したのである、此の時代の鴉片は和蘭人の手によつて、ジヤワから入つたものと傳へられてゐる、その後台灣の移住民がその首府廈門を通じて遂に傳播したのである

元來支那人は仙人とか奇蹟とかを好む國民であるだけに、此れを吸飮して朦朧として仙人を夢見る所に支那人の嗜好する所がある、も一つは鴉片を萬病藥として愛用したことである、實際萬病に効く譯ではないのだが病人の痛みを或時間迄麻醉して忘れてしまふ作用があるから或時間を經過する間に必然的生理作用に依つて病氣が癒る場合もあるでせうが、此れが支那人間に萬病藥として、仙人藥として宣傳されたものだから、山間僻地からも都會地を指して鴉片を買ひ求めのために雲集する盛況を呈したのである、此れが爲め、商賣上手な支那人のことだから早くも南支那から中部支那へ、中部支那から北部支那滿洲へ迄印度產鴉片の密貿易が盛んになつたのである

併し支那政府も此の害毒多い鴉片を吸飮することは國を滅ぼす基だと悟り、雍正帝即位後六年（一七二九年）に非鴉片勅令を發し喫烟用の鴉片販賣及鴉片喫烟所の開店に對し苛酷の刑を定めたが病人が藥用として喫烟したと云ふ言譯が通り、一人の犯罪人も出さなかつた、此れが支那に於ける鴉片斷禁政策の嚆矢である

雍正七年勅令發布當時の支那の輸入量は一個年二百箱に過ぎなかつたが乾隆三十二年には千箱以上に達したのである

乾隆三十八年には英國の東印度會社が印度產鴉片を支那に密輸出を試みたが、支那政府も此れを防止すべく、二萬餘箱の鴉片を沒收した爲めに英支間の外交上複雜な問題が起り、彼の有名なエリオット外交が是れである、更に問題は展開されて千八百四十一年七月に彼の有名な鴉片戰爭を起すに至つたのである、斯の如く支那政府としても絕へず鴉片に對する斷禁政策を採つて來たが鴉片の喫烟を斷禁することも遂に出來ず却つて鴉片を取締る官吏並びに此れを取扱ふ商人等の腐敗惰落を招く結果に過ぎなかつたのである

汗に汚れたワイシャツとカラー

上手な洗濯法

△最初微溫湯に洗濯ソーダをとかし、糊氣を落す爲に、その中に二三時間浸けておきます、その水で一度揉洗ひしておき液を捨て丶微溫湯一升に粉石鹼を一杯と洗濯ソーダ少量を溶かし、その中で硬い毛のブラシで洗ひ、後で十分によく濯ぎます

△洗濯毎に漂白すると地質を損するので三度に一度位、漂白粉の溶液につけ、水一升に漂白粉四、五匁の割合がよろしうございます、一二時間つけておいて時々布を上下にしてよく全体にしみ渡るやうにします、次にこれを淸水でよくすすぎ、臭味が殘るやうなら酢を落した水に潜らせながら水洗ひします、すつかり糊が乾いてから霧吹きをしてアイロンをかけます、その時堅い板にのせ、アイロンを熱くして、強く擦つてかけると、艶が出て美しくなります、

主婦のメモ

ゴミは新聞紙に包んでゴミ箱へ

□…これから夏中の塵芥箱はいくら臭氣止めをしてみても石油乳劑のやうなものを撒いておいても蓋をあけると蠅がとび立つ、ツンと鼻をつくいやな臭がする…等實に不愉快で不衛生の極みで、塵芥屋さんが籠にさらつて胸に抱へて持つて行くのを見るのもしのびない氣がします

□…それについてぜひ試みていただきたいのは、流しもとにおいてあるゴミ箱がいつぱいになつて外の大ゴミ箱に捨てる時それを一枚の新聞紙に包んで捨てるのです丁度一包みの荷物のやうに

□…新聞紙は自然の防腐劑になつてその包みが十五にも二十にもなり、ゴミ箱がいつぱいになつても殆ど臭くもなければ蠅のわくやうなこともありません

梅雨期

お子さんのお辨當に御注意

消化のよいものが肝要

△梅雨期は氣分も滅入り、戸外に出ての運動の機會も少くしたがつて食慾も衰へがちになりますそれ故主婦は消化し易きものを選んで出來る限り殘りものを出さぬやうに工夫したいものです、又假令腐敗せぬまでもかうした季節は戸棚の中が濕つぽいので、惣菜の臭味が戸棚に移つて誠にいやなものであります、その上食器棚は器物を時々取り出しソーダを溶した湯で隅々まで拭くやうにしませんと黴が生えます

△尙殘りもののある場合は先づ御飯は必らずよく乾燥したヒツに移した上、腐敗を防ぐために梅干を入れておきます更に時をおいたやうなものでしたら、お湯づけにするとかバタいためにするとかして少し手を加へ、物菜の場合でしたら再度火を通します、然し少しでも腐敗したと思つたら惜しみなく捨てるやうにしませんと病氣にでもなつたら最後かへつて不經濟になります

△子供のお辨當は物菜は前夜つくつたものは決して入れぬことです、忙しくとも全部朝調理し御飯と共に同じ溫度に冷ましてからつめ合せませんと、學校へ行つて後いよいよ晝食にしようと思ふ頃にはその中の一方が腐敗してゐるやうなことがあります

知つて置きたい豆の煮方

豌豆一合（乾したもの）を一日水につけひやしておきその水の弱火にかけ茶匙三分一の重曹を入れて煮ます一度煮立つた時湯を捨てて新しい水をさし豆が軟かくなる迄煮豆が割れない程度で軟かくなつた時湯を捨てて鹽を少しふりかけ火の上で鍋を動かして粉ふかせをいたします

海の外から

三萬年前の世界最古の樂器現る

チエッコ、スロヴアキヤで最近、ブルノー博士に依つて發見された頗る古い樂器に就て同博士は考古學的見地に立つて研究中であつたが遂に、何んと、三萬年前の世界最古の樂器だと折紙を着けた、此の樂器はライオンの齒に依つて作られ、三萬年後の今日ではD音とG音を完全に發音するといふ珍物である。

切手大のポケット、カメラ

英國の寫眞界に最近現はれた完全なポケットカメラがある是れは切手大の種板で步行し乍ら速寫出來る所から今夏の海濱には可成り惡用されるだらうと警察當局の方が今から氣を惱んでゐる

世界一の運河昇降機

獨乙伯林の北方エーヴエルスワルテ附近に在るニーダーフイノウに予て建設中であつた運河昇降機は近く竣工することになつた、是は伯林から多くの沼澤地を通ずるホーヘンワオルレルン運河の水運に劃期的な便益を齎したもので高さ六十米、長サ九三米、航行の船を吊上げる壯觀は正に世界一である

巨大機ゴルキー號 近く進空式を擧行

ソ國露西亞は科學の粹を集めた巨大機、マキシムゴルキー號をモスクワ郊外ツアキ中央航空廠で建造中の所、完成も近付き同國政府は目下モスクワ飛行場で盛大な進空式準備に忙殺されてゐる

ラヂオ

十三日（水曜）新京

午前 六時 〇分 ラヂオ体操（東京ヨリ）
同 八時 五分 經濟市況
同 十時三〇分 ニュース（東京ヨリ）
同 十時四〇分 經濟市況（東京ヨリ）
同 十時五九分 時報
同 レコード（滿語）
同 十一時三〇分 ニュース（滿語）
同 十一時四〇分 ニュース（東京ヨリ）
午後 〇時 五分 經濟市況（奉天ヨリ日滿兩語）
同 〇時三〇分 演藝（滿語）
同 一時 〇分 演藝（滿語）
同 一時三〇分 講座 日本の現狀に就て（終講） 監察院審計官 張實
同 二時五〇分 ニュース（東京ヨリ）
同 三時二〇分 ニュース（日滿兩語） 經濟市況
同 三時三〇分 經濟市況（奉天ヨリ日滿兩語）
同 四時三〇分 ニュース（滿語）
同 四時四〇分 ニュース（鮮語）
同 四時五〇分 ニュース（英語）
同 五時 〇分 子供の時間（奉天より）

◎一部
一、齊唱 日滿兩國國歌
二、奉迎の辭 男子代表 春日小學校六年 向坊壽 女子代表 平安小學校六年 志賀和
三、唱歌 イ、美しの滿洲 ロ、萬歲日本 敷島小學校五、六年男女 指揮 西本六祐
四、唱歌 イ、鴨綠江 ロ、初夏 千代田小學五年女子 指揮 豐崎雅和
五、唱歌 イ、水兵さん ロ、娘々祭 ハ、茶摘 彌生小學校三年女子 指揮 武田喜平
六、子供の室內樂 獵人の合唱 ヴアイオリン 加茂小學校兒童二年より六年まで 合奏 セロ 杉本婦美子 ピアノ 尾形英子

◎二部
一、合唱 イ、美哉滿洲國 ロ、並木の散髮 奉天公學校女子十名 指揮 佐藤勇
二、コーラス 春遊ひ 第一部 ロシア小學校生徒十二名 第二部 加茂小學校生徒三十名 第三部 奉天省立小學校六年女二十三名 ピアノ伴奏 ミス、ラハロフ

同 六時 〇分 奉祝の辭 奉天市長 閻傳紱（日滿兩語）
同 六時二〇分 秩父宮殿下御動靜關係ニュース（奉天より）
同 六時四〇分 奉迎演奏（奉天より）
一、オーケストラ
二、謠曲
三、俚謠 唄 笑太郎 三味線 玉助 同 市丸
四、三曲合奏 イ、奉天音頭 ロ、撫順音頭 ハ、鐵嶺音頭
同 八時三〇分 時報 ニュース（東京より）
同 八時四五分 ニュース 氣象豫報、プロ豫告
同 九時 〇分 滿洲音樂（奉天より） 一、奉天滿洲音樂會 萬年歡 二、興民樂 三、柳青娘
同 九時三〇分 時報 ニュース プロ予告（滿語）

新刊紹介

キング

◎昭和の盛事天覽武道大會記はこゝでも絢爛の華彩を放つてゐるが特に武道記事で其名を謳はれた松本鳴弦樓を起用してゐるだけ、數段見榮えのするのは、どうも已むを得ない、矢張りキングはキングである

▲牧逸馬が珍らしく盛典に執筆を揮つて「若き日の成吉思汗」六月の東寶劇場へ猿之助の爲めに書卸されたものだがモンテヴンナを東洋にして見る大舞台、如何にも堂々たる快篇だ

▲「鬼伏せ頭巾」『日像月像』「靑空無限城」「勝ち運負け運」「珠惡山彥」「金環蝕」「大いなる朝」「碎けず」「妖蟲」――創作陣の豪華さに加へて讀切大傑作選に加藤武雄尾崎士郎吉井勇澁ヒ黎明花といふ名取合せ

▲更に嬉しいのは仇討講談の二大篇の特輯になつてゐることだ、大島伯鶴の「西南餘聞血染の雪」伊東陵潮の「安田作兵衞と酒袋坊」これに越山の稻葉小僧を加へて、講談でもキングは斷然異彩を示してゐる

▲特輯の大きなものに「庭球上達の急所」これも例によつて、素人にもよく分るやうにとの周到さがこれまでにないは偉い

▲最初に落したが、卷頭の永田秀次郎氏の「人力を盡して天命を俟つ」は近來にない佳篇だ、この種の隨想は筆者の人格が物を云つて文學外に潜むいふべからざる醍醐味が頁に卷を措くを忘れしむるものがある

▲キングは長い雜誌だ讀まれるのも尤もだ、七月號も此分だとラッキーセヴン華やかなものがあらう

鮮魚小賣相場

品名	値	品名	値
活鯛	六六	氷鯛	三四
チヌ鯛	三六	甘鯛	二一
ニベ	一六	メジ	二六
ヒラス	二六	スヽキ	一三
アジ	一二	星カレ	一四
ボラ	一一	コチ	九
コノシロ	一七	キス	四〇
マナカツ	五〇	トビウオ	一七
ハゲ	三〇	赤貝	五
アコウ	六〇	サヨリ	一七
コチ	五	カマス	一二
カナガシ	八	フカ	一〇
赤エ切	一五	タコ	二五
イカ	四〇	小イカ	二〇
イセエビ	一四〇	車エビ	二二
カニ	一六	ハモ	一七
アナゴ	一二	アワビ	六〇
ハマグリ	八	シジミ	一〇
カマボコ	四〇	シビ切	六〇
カスコ	四五	マス	二六
アユ	二三〇	ウナギ	一〇〇

日本の聖女 (上演上映)

生田葵
南部龍平畫

二八　巖窟へ向つた捕手(三)

銃聲におどろいたものらしくあわてふためいて衣類を着けるすきもなく、濡れた身體に、抱へ込んだ衣物を前に押し當て、一目散に鳥邊野の方へと草原をはだしで弓を放れた矢のやうにかけ出して行くのである。

それは譯のわからない鳥のやうにも見え、岸田はおどろきを重ねたが、女の頬や皮膚の色や汚れた髪の様子で、非人の娘や女房が水浴びに來て居て、思はぬ銃聲に膽をつぶして飛び出したのであるとは、直ぐ會得が行つた。

「逃げ込む奴があるか、地べたを這つて前へ進め、卑怯な眞似をすると後でおとがめがあるぞ」

岸田は捕手達に取殘された腹立ちも交つて大聲に怒鳴つた。

しかし捕手達はすつかりおぢけづいたと見え、逃込んだ雜木山から出て來なかつた。

それで岸田は爲方なしに用心して、一旦地上にへたばつた身體を立て直し、身體をかがましながら雜木山の方へ、退きかけると、又一發銃聲がとゞろき渡り、がんくつの入口には煙硝の白煙がパット立つて、銃丸が飛んで來た。

その銃丸に、捕手の誰をも傷つけず、雜木山のすそ枝を延ばしてゐる栗の木の幹に當つて、銃丸ははねた。

岸田は地上にしがみついてゐるにしても一人で前面に進んでゐるのに危險を感じ、犬のやうに四ん這ひながら、ソロリ〳〵と雜木山の方へ後退りし、雜木山へ近づくと、起ち上つてまつしぐらにかけ込んだ。

×　×　×

「廢寺の天井のすきまに安置せしペテロの小さな銅像を忘れしを忍び出し、ひそかに取に戻りし折柄、入口に物音が起りし故、さてはとり手が亂入し來るよと、拔け穴へ這入りにしに、一向にそのやうな容子はなく、只内部へと渦巻く煙りのみが來るばかりでした、巖屈に我等がまだ居ると信じて、燻り攻めにする心算だと判ると、からかつてやりたく、拔け穴を這ひ出して、向ひのざう木山の裾に見張つて居るとり手の人數へと、入口から短筒二發打込んで引上げてまゐりました」

語るのは森村數之丞で、お高と巖垣吉兵衛が前に座つて居た。

「いらぬおどかしをなさらずと早う引上て來て下さる方がどんなによろしかつたことやら、お前様の歸りのおそいので、皆が案じ、今吉兵衛殿は見に行かうと云つて居られたところでした」

お高か數之丞の血氣をいましめるやうに云ふのであつた。

三人が坐して居る座敷の前面には東寄りに醍醐の山が連なつて見られ、西寄りには清水の奥山の姿が南へと走つて居た。

其間にせまる打ち開けた野面は宇治、木幡迄も續く此邊一帶は、山科の奥地で通つて居た。

お高がいきかへつた翌日の夕べ片目の由が役人の手に落ちたと解ると、これは危險が迫つて來たと知つた信者の非人達の注進で、直移轉先を兼ねて吉兵衛の手で準備してある山科の地と定め、一切のさし圖はとんで來た吉兵衛と、數之丞とがしてその夜の中に巖屈を引拂つて此家へ落着いたのであつた。

今朝宗鑑やその子供やびつこ松が引立てられたことも、鳥邊野とは山一つ越えた土地なので、既に此方の耳に這入つて居た。

×……　×……　×……